

揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリについて

令和6年3月

揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会

はじめに

平成 16 年5月、大気汚染防止法の一部を改正する法律が公布され、VOC の排出規制と事業者の自主的取組とを適切に組み合わせて(ベストミックス)、VOC の効果的な排出削減が進められている。

平成 18 年3月 30 日に中央環境審議会大気環境部会の揮発性有機化合物排出抑制専門委員会が取りまとめた「揮発性有機化合物の排出抑制に係る自主的取組のあり方について」においては、VOC 排出抑制対策の進捗状況(法規制及び自主的取組の効果)の把握を目的として、「VOC 排出インベントリの整備・更新」の必要性が指摘された。

このため環境省では、平成 18 年度から令和4年度の「揮発性有機化合物の排出インベントリ作成等に関する調査」(以下、「既存調査」という。)において、平成 12 年度、平成 17 年度～令和3年度の VOC の排出量を調査し、発生源品目別等の排出量の推計を実施してきた。

今年度の調査は「揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会」(委員長:田邊潔 国立研究開発法人国立環境研究所 客員研究員)(以下「検討会」という。)を設置し、令和4年度の VOC 排出抑制対策の進捗状況の把握を行った。

令和6年3月に開催した検討会では、学識経験者、自治体、業界団体からの委員の参画を得て議論を重ね、各委員や関係業界団体から最新の情報等を得ることにより、既存インベントリの改善・検証に努めた。また、検討会の下に、インベントリ検討ワーキンググループ(WG)を設置し、より専門的な検討を行った。

今後、中央環境審議会大気・騒音振動部会の関連会合や都道府県等において、大気汚染防止法に基づく VOC の排出抑制対策の進捗状況の把握等に VOC 排出インベントリが広く活用されることが期待される。

令和6年3月

揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会

令和5年度 撥発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会
委員名簿

(敬称略;五十音順)

氏名	所属	役職
遠藤 小太郎	一般社団法人 産業環境管理協会 人材育成・出版センター	所長
大塚 健司	日本産業洗浄協議会	常務理事・事務局長
小野 雅啓	一般社団法人 クリーンライフ協会 環境保全対策部会	常任幹事
金子 タカシ	石油連盟 技術委員会 燃料技術専門委員会	委員
亀屋 隆志	横浜国立大学 大学院 環境情報研究院	教授
小塩 典宏	日本接着剤工業会	第2登録審査委員会 主査
四家 豊彦	一般社団法人 日本化学工業協会 環境安全部	部長
高寺 貴秀	一般社団法人 日本塗料工業会	技術部長
◎田邊 潔	国立研究開発法人 国立環境研究所 環境リスク・健康領域 基盤計測センター	客員研究員
寺門 雅史	一般社団法人 日本造船工業会	常務理事
長濱 弥生	一般社団法人 日本自動車工業会 環境技術・政策委員会 環境政策部会 工場環境政策分科会	副分科会長
南齋 規介	国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環領域	国際資源持続性研究室長・物質フロー革新研究プログラム総括
東川 直史	東京都環境局 環境改善部 化学物質対策課	課長
森 浩二	一般社団法人 日本印刷産業連合会 環境安全部	部長

◎:委員長

令和5年度 インベントリ検討WG 委員名簿

(敬称略;五十音順)

氏名	所属	役職
井上 和也	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門	研究グループ長
梶井 克純	京都大学 大学院 地球環境学堂 および 人間・環境学研究科	教授
◎亀屋 隆志	横浜国立大学 大学院 環境情報研究院	教授
田邊 潔	国立研究開発法人 国立環境研究所 環境リスク・健康領域 基盤計測センター	客員研究員
茶谷 聰	国立研究開発法人 国立環境研究所 地域環境保全領域 大気モデリング研究室	主幹研究員
永岡 保行	東京都環境局 環境改善部 化学物質対策課	課長代理
森川 多津子	一般財団法人 日本自動車研究所 環境研究部	主席研究員

◎:委員長

令和5年度 挥発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会の開催状況

検討会	開催日時	議事
第1回	R5.3.26(火) 14:30～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和4年度の揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリについて ● 令和5年度インベントリ検討WGにおける検討結果について

令和5年度 インベントリ検討WG の開催状況

検討WG	開催日時	議事
第1回	R5.12.21(木) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度インベントリ検討WGにおける検討事項 ● インベントリの精緻化に向けた解析 ● 関連するインベントリ等との連携 ● 推計対象とする発生源の拡充
第2回	R6.2.14(水) 13:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回WGにおける指摘事項と対応結果・方針 ● インベントリの精緻化に向けた解析 ● 関連するインベントリ等との連携 ● 推計対象とする発生源の拡充

目 次

1.	VOC 排出インベントリ推計の枠組み	1
2.	検討会における主な検討事項	4
3.	VOC 排出量の推計結果と変動要因分析	5
3.1.	発生源品目別 VOC 排出量の推計結果	5
3.2.	物質分類別 VOC 排出量の推計結果	11
3.3.	業種別 VOC 排出量の推計結果	22
3.4.	都道府県別 VOC 排出量の推計結果	26
3.5.	発生源品目別 VOC 排出量の変動状況	30
3.6.	業種別・発生源品目別 VOC 排出量の推計結果	32
参考資料1	物質別排出量の推計結果	1
参考資料2	発生源品目別の計算式及び使用したデータの概要	12

1. VOC 排出インベントリ推計の枠組み

本検討会では、以下の枠組みに従い VOC 排出インベントリを作成した。なお、インベントリの作成にあたり、検討した内容については「2. 検討会及びインベントリ検討 WG における主な検討内容と結果(p.4～)」に示す。

また、VOC 排出インベントリの推計方法は、「発生源品目別の計算式及び使用したデータの概要(本報告書末尾の参考資料2参照)」と「都道府県推計のための配分指標」に従い、図 1-1 に示した4分類(①発生源品目別、②業種別、③物質別、④地域別)の排出量を推計した。

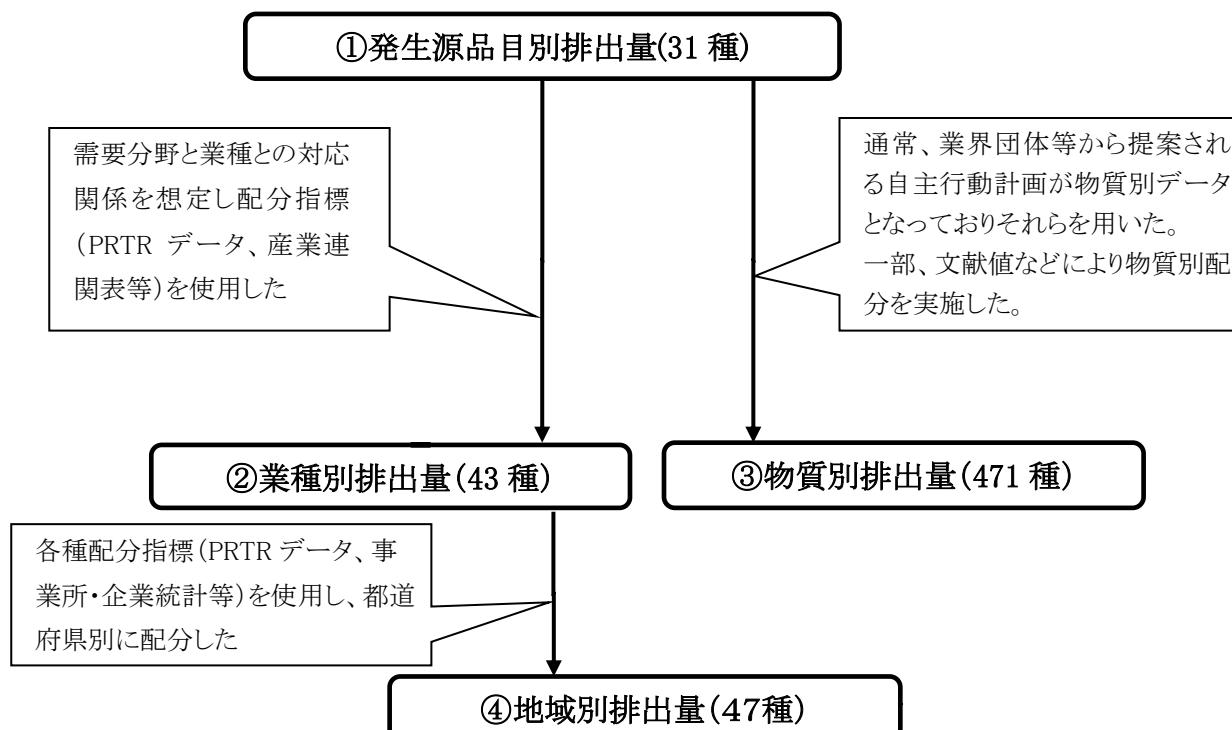


図 1-1 VOC 排出インベントリにおける排出量推計のフローチャート

(1) インベントリ作成の経緯

平成 18 年3月の中央環境審議会 大気環境部会報告「揮発性有機化合物の排出抑制に係る自主的取組のあり方について」において、「VOC 排出抑制対策の進捗状況を把握するため、(中略) VOC 排出インベントリの整備・更新を行う必要がある」とされた。それを受け、環境省では揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会を設置し、年度ごとの VOC 排出量を「排出インベントリ」として作成してきた。

目標年度である平成 22 年度の排出量は、目標を上回る4割以上(平成 12 年度比)の削減がなされたと推計された。また、自動車等の排ガス規制の効果も相まって浮遊粒子状物質(SPM)及び光化学オキシダント(Ox)についても、平成 17～19 年度以降は改善傾向にあり、VOC 排出抑制制度等による排出抑制の効果が示唆された。

このような結果を踏まえ、平成 24 年 12 月に中央環境審議会から答申が示され、VOC 排出抑制制度の継続が適当とされた。また、VOC 排出抑制制度の継続に伴い、引き続き、VOC 排出状況の把握を実施していくことが必要とされた。

また、VOC は微小粒子状物質(PM2.5)の原因物質となる可能性が示唆されており、光化学オキシダントと共に通する課題が多いことから、平成 27 年 3 月に中環審大気・騒音振動部会微小粒子状物質等専門委員会がとりまとめた「微小粒子状物質の国内における排出抑制策の在り方について(中間とりまとめ)」において、VOC 排出抑制に関する課題が示された。

(2) 推計対象年度

平成 12 年度、平成 17 年度～令和 4 年度とする。

(3) 推計対象地域

全国及び都道府県別とする。

(4) 推計対象とする発生源の範囲

推計対象とする発生源は表 1-1 のとおり。

表 1-1 推計対象発生源の一覧

大分類 (排出段階)	中分類 (使用目的)	小分類 (発生源品目)
1 製造		101 化学品
		102 食料品等(発酵)
		103 コークス
		104 天然ガス
2 貯蔵・出荷		201 燃料(蒸発ガス)
		203 原油(蒸発ガス)
3 使用(溶剤)	31 溶剤(調合品)の使用	311 塗料
		312 印刷インキ
		313 接着剤
		314 粘着剤・剥離剤
		315 ラミネート用接着剤
		316 農薬・殺虫剤等(補助剤)
		317 漁網防汚剤
	32 溶剤(非調合品)の使用	322 ゴム溶剤
		323 コンバーティング溶剤
		324 コーティング溶剤
		325 合成皮革溶剤
		326 アスファルト溶剤
	33 洗浄・除去	327 光沢加工剤
		328 マーキング剤
		331 工業用洗浄剤
		332 ドライクリーニング溶剤
	34 その他	333 塗膜剥離剤(リムーバー)
		334 製造機器類洗浄用シンナー
		335 表面処理剤(フラックス等)
4 使用(溶剤以外)	41 原料使用	341 試薬
	42 製品使用	411 原油(精製時の蒸発)
		421 プラスチック発泡剤
		422 減菌・殺菌・消毒剤
		423 くん蒸剤
		424 湿し水

(5) 推計対象とする物質

推計対象とする物質は、大気汚染防止法で定義された「揮発性有機化合物」とした¹⁾。具体的には、発生源ごとに製品等(発生源品目)に含まれると考えられる 471 物質を推計対象とした。なお、個別の物質まで特定できないものの、炭素数や構造まで把握できる場合は「C10 アルカン」等の総称、主な用途まで把握できる場は「工業用ガソリン2号(ゴム揮発油)」等の物質群、全く特定できない場合は「特定できない物質」等として表記した。

一方、オキシダント生成能は物質によって顕著な差があることが知られており、VOC 排出インベントリにおいても個別の物質の内訳を可能な限り示すことが求められている。このような背景から、平成 26 年度～平成 27 年度検討会において、いわゆる「工業ガソリン」等の混合溶剤を対象として文献等から細分化する方法を検討するとともに、平成 28 年度～29 年度検討会において、国内で販売されている溶剤の成分分析を実施することで物質の細分化を進めてきた。平成 28 年度以降(平成 27 年度排出量)のインベントリにおいては、これらの検討結果を踏まえた細分化結果についても示した。

(6) 推計対象とする業種

推計対象とする業種は、発生源ごとに VOC の取扱方法等から判断し、「日本標準産業分類」(平成 14 年3月改定)の業種分類により整理した。標準産業分類には大分類、中分類、小分類、細分類の4区分が存在するが、各発生源品目における排出量について、小分類、細分類までの内訳を把握できない場合が多いため、おおむね中分類の業種ごとに VOC 排出量を集約した。ただし、小分類、細分類が把握できる場合には、発生源品目ごとの推計方法等の中で対応する業種を示している。

なお、VOC を含む製品の需要分野が不明であるなどの理由から、具体的な業種が特定できない場合には、「98 特定できない業種」としている。また、「99 家庭」については、本インベントリにおいて設定した。

(7) 推計における有効数字の考え方

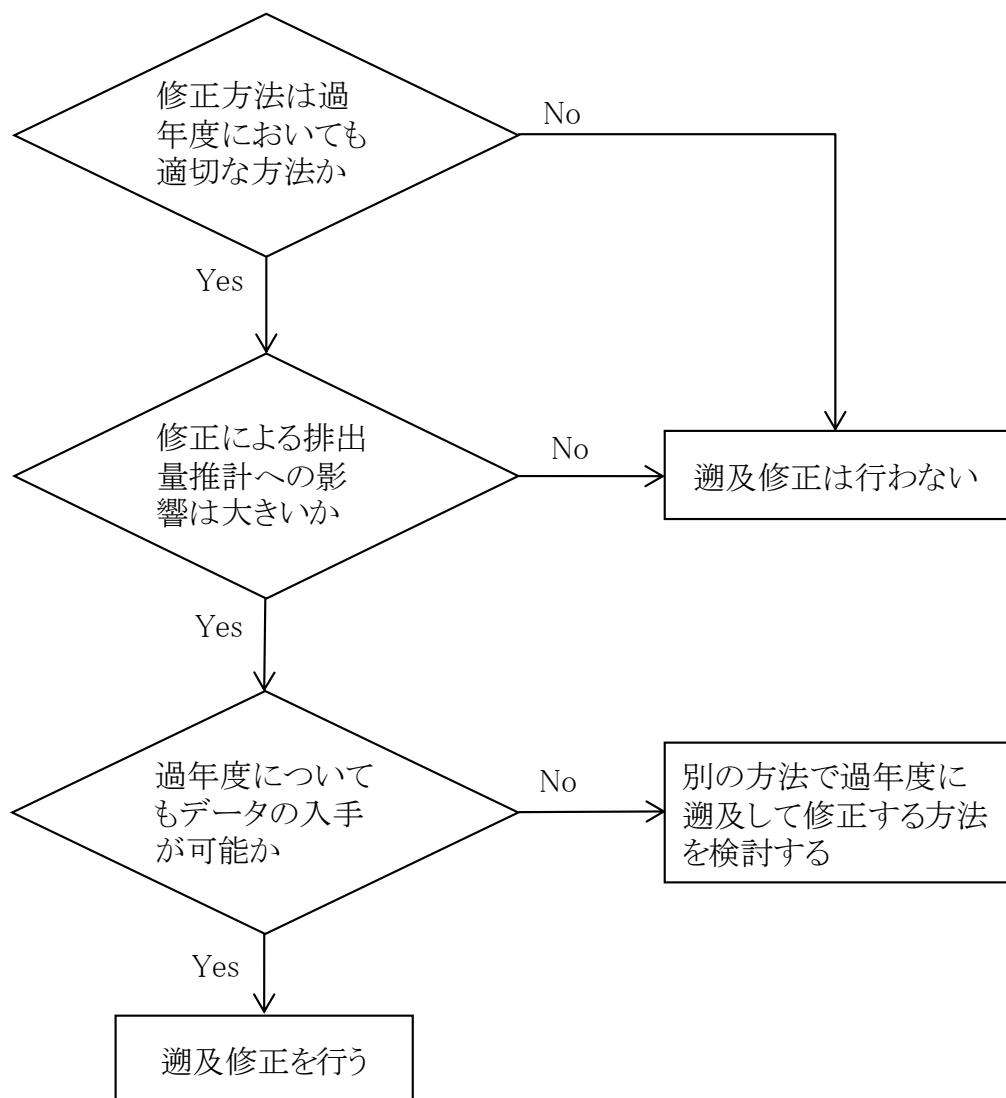
有効桁数については、本来は各発生源品目の推計に使用する基礎データによって異なるが、以下の理由により、1トン/年単位での表示を行った。

- 基礎データによっては、有効桁数が示されていない場合があるため。
- VOC 排出抑制対策は、排出量の大小にかかわらず、広く取り組むべきものであるため。
 - ⇒ 有効桁数以下を切り捨てた場合、例えば、排出量の小さい発生源品目は排出量の大きい発生源品目の誤差以下となってしまう。
- 業種別、都道府県別排出量等においては、発生源品目別の排出量を経済指標等に比例して配分しており、これら配分結果の合計値は配分前の値に合致させているため。

1) 大気汚染防止法 第2条（抜粋） この法律において「揮発性有機化合物」とは、大気中に排出され、又は飛散した時に気体である有機化合物（浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定める物質を除く。）をいう。

(8) 過年度排出量の遡及修正

推計方法を変更した場合の過年度への遡及修正については、平成 26 年度調査において検討した判断フローに基づき実施することとしている(図 1-1)。



注1:1番目の分岐について、変更が過去においても適切かどうか不明確な場合は遡及して修正しない。

注2:遡及修正による排出量への影響が小さい場合においても、修正の対象となる物質のオキシダント生成能(PM 生成能)が高い場合はそれも考慮して遡及の必要性を判断する。

図 1-1 選及修正の必要性に係る判断フロー

2. 検討会における主な検討事項

令和 5 年度の検討会・インベントリ検討 WG では、インベントリの精緻化に向けた解析、関連するインベントリ等との連携、推計対象とする発生源の拡充等を検討した。

3. VOC 排出量の推計結果と変動要因分析

3.1. 発生源品目別 VOC 排出量の推計結果

発生源品目別 VOC 排出量の推計結果を図 3-1、表 3-1 に示す。令和 4 年度排出量の VOC 排出量は 567,691 t/年であり、平成 12 年度からの削減率は 60% であった。

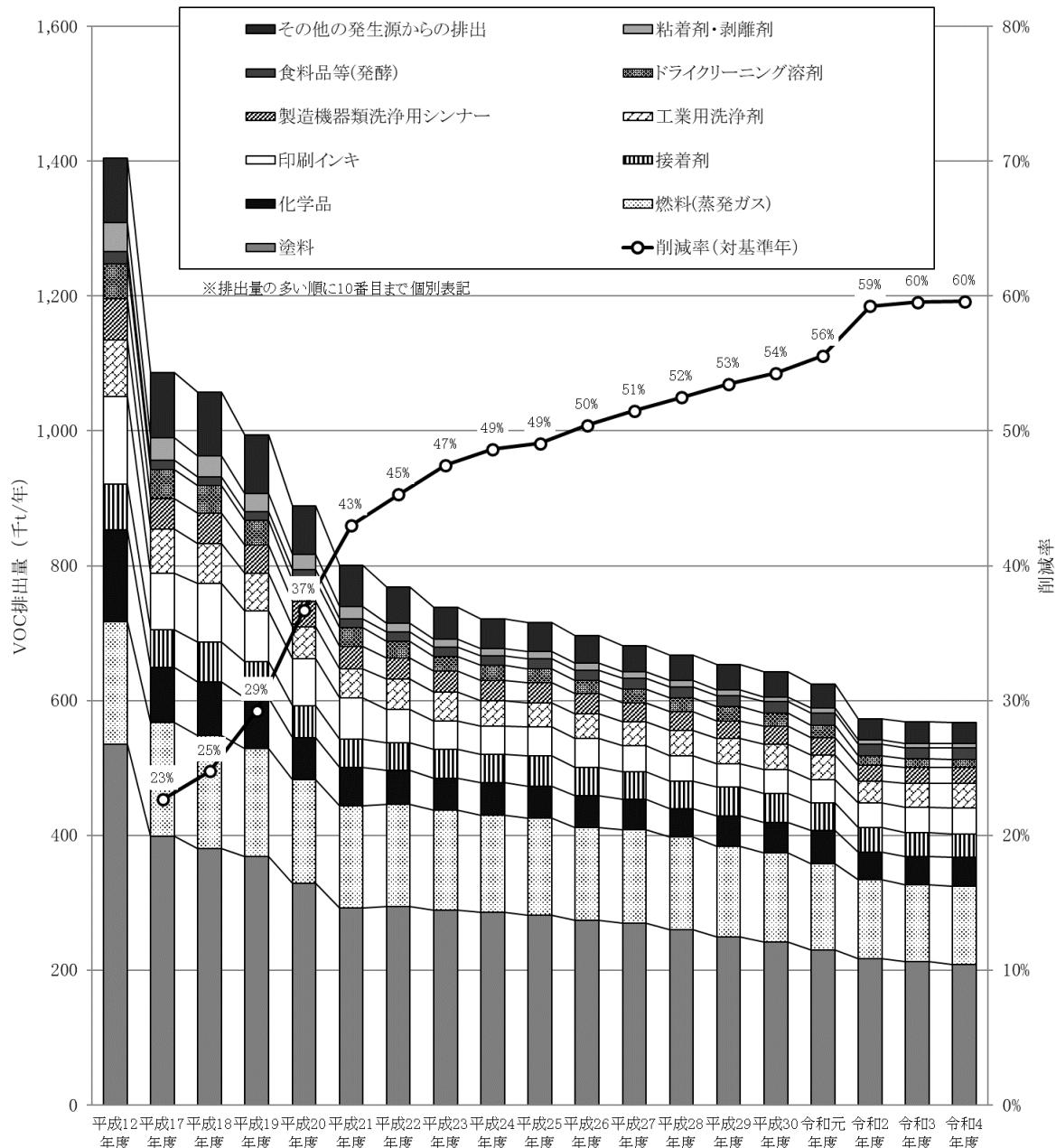


図 3-1 発生源品目別 VOC 排出量の推計結果

表 3-1 発生源品目別 VOC 排出量の推計結果(1/3)

発生源品目	VOC 排出量(t/年)							
	平成 12 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
101 化学品	136,229	82,232	79,544	76,006	61,741	57,182	51,019	46,976
102 食料品等(発酵)	18,075	13,774	13,535	13,156	15,960	13,355	13,852	14,048
103 コークス	317	179	164	166	144	120	125	132
104 天然ガス	1,611	836	825	1,999	2,760	2,560	2,514	794
201 燃料(蒸発ガス)	182,077	169,040	167,905	160,041	154,250	151,868	151,478	148,100
203 原油(蒸発ガス)	993	830	818	737	768	721	581	484
311 塗料	534,672	398,203	379,924	368,422	328,754	292,224	294,460	289,499
312 印刷インキ	129,909	84,290	86,554	75,877	70,214	60,865	48,732	42,020
313 粘着剤	68,027	55,041	59,698	52,838	47,500	41,853	40,819	42,658
314 粘着剤・剥離剤	43,373	33,252	31,133	26,439	22,548	18,513	12,193	11,312
315 ラミネート用接着剤	22,191	26,945	25,460	24,174	16,752	13,823	11,014	9,124
316 農薬・殺虫剤等(補助剤)	3,390	2,825	2,704	2,728	2,667	2,489	1,974	1,941
317 漁網防汚剤	1,854	4,261	4,355	4,207	4,106	3,835	4,006	3,985
322 ゴム溶剤	25,841	21,875	21,051	19,508	16,321	12,960	13,674	12,201
323 コンバーティング溶剤	11,839	9,818	11,110	9,235	8,647	6,886	5,304	5,067
324 コーティング溶剤	2,690	13,912	13,322	12,806	9,705	8,402	7,092	6,166
325 合成皮革溶剤	1,703	2,948	3,523	3,510	2,485	1,440	535	690
326 アスファルト溶剤	402	204	190	234	150	145	126	108
327 光沢加工剤	763	465	419	349	279	210	201	192
328 マーキング剤	195	126	127	122	112	94	86	79
331 工業用洗浄剤	83,531	65,434	59,736	55,481	46,692	43,438	45,148	43,413
332 ドライクリーニング溶剤	51,537	43,440	40,711	36,744	31,266	27,436	24,663	21,931
333 塗膜剥離剤(リムーバー)	7,060	1,540	1,312	1,064	1,201	935	1,467	1,067
334 製造機器類洗浄用シンナー	61,622	45,161	44,316	41,550	37,335	33,027	31,925	30,944
335 表面処理剤(フラックス等)	923	620	620	620	620	620	620	620
341 試薬	1,241	1,615	1,726	772	710	898	1,060	997
411 原油(精製時の蒸発)	86	86	83	82	79	74	74	70
421 プラスチック発泡剤	3,353	2,337	2,018	1,653	1,626	1,225	1,194	1,290
422 清菌・殺菌・消毒剤	177	177	177	177	177	177	177	177
423 くん蒸剤	3,692	1,244	1,108	947	827	670	689	624
424 湿し水	5,429	3,578	2,899	2,151	2,541	2,662	1,702	1,526
合 計	1,404,801	1,086,288	1,057,068	993,797	888,936	800,706	768,504	738,236
削減率(平成 12 年度比) ^注	-	23%	25%	29%	37%	43%	45%	47%

注:「削減率(平成 12 年度比)」は、対象年度の排出量に対する対平成 12 年度比(例:1-対象年度/H12)を示す。

表 3-1 発生源品目別 VOC 排出量の推計結果(2/3)

発生源品目		VOC 排出量(t/年)							
		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
101	化学品	47,983	48,025	46,511	44,355	41,632	45,507	45,127	49,909
102	食料品等(発酵)	14,224	14,575	15,245	15,905	16,014	16,855	17,428	18,210
103	コークス	167	144	123	120	116	107	90	104
104	天然ガス	653	607	728	463	496	1,463	1,463	1,463
201	燃料(蒸発ガス)	144,314	143,350	137,570	138,583	137,098	133,872	131,914	127,381
203	原油(蒸発ガス)	429	421	427	414	376	376	376	376
311	塗料	285,652	281,746	274,476	270,193	260,473	249,370	242,071	230,239
312	印刷インキ	41,612	42,911	42,792	38,470	38,507	33,527	35,248	34,556
313	接着剤	42,683	45,219	42,432	41,050	40,668	43,392	43,139	40,961
314	粘着剤・剥離剤	11,080	10,681	10,672	9,593	9,718	7,790	6,368	7,232
315	ラミネート用接着剤	8,888	9,306	8,883	8,161	7,504	7,680	7,470	6,527
316	農薬・殺虫剤等(補助剤)	1,736	1,607	1,750	1,665	1,562	1,542	1,518	1,442
317	漁網防汚剤	4,151	4,255	4,117	4,672	4,438	4,458	4,373	4,456
322	ゴム溶剤	10,414	9,756	9,311	8,634	8,461	8,152	7,979	7,614
323	コンバーティング溶剤	4,232	3,778	3,545	3,581	3,556	3,903	3,369	3,479
324	コーティング溶剤	6,047	6,257	6,044	5,675	5,332	5,425	5,314	4,807
325	合成皮革溶剤	1,434	1,680	1,359	1,156	1,077	954	848	742
326	アスファルト溶剤	104	99	110	104	109	95	93	79
327	光沢加工剤	184	175	175	175	175	175	175	175
328	マーキング剤	67	64	68	62	60	60	62	63
331	工業用洗浄剤	37,200	34,997	36,998	35,397	37,144	37,615	38,022	36,514
332	ドライクリーニング溶剤	21,890	20,398	19,199	20,004	20,838	20,724	19,095	18,335
333	塗膜剥離剤(リムーバー)	1,165	1,008	890	853	931	1,234	1,136	1,413
334	製造機器類洗浄用シンナー	30,566	30,484	29,663	28,868	28,024	26,817	26,437	25,241
335	表面処理剤(フラックス等)	620	620	620	620	620	620	620	620
341	試薬	722	511	711	925	660	489	804	743
411	原油(精製時の蒸発)	70	71	67	67	68	66	63	62
421	プラスチック発泡剤	1,215	1,096	984	890	804	787	877	740
422	滅菌・殺菌・消毒剤	181	180	180	187	177	185	184	185
423	くん蒸剤	603	528	489	386	326	326	313	329
424	湿し水	1,251	762	507	442	489	144	258	106
合 計		721,537	715,312	696,644	681,669	667,456	653,710	642,235	624,104
削減率(平成 12 年度比) ^注		49%	49%	50%	51%	52%	53%	54%	56%

注:「削減率(平成 12 年度比)」は、対象年度の排出量に対する対平成 12 年度比(例:1-対象年度/H12)を示す。

表 3-1 発生源品目別 VOC 排出量の推計結果(3/3)

発生源品目		VOC 排出量(t/年)					
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度			
101	化学品	41,326	41,636	43,154			
102	食料品等(発酵)	16,990	16,315	17,284			
103	コークス	89	111	90			
104	天然ガス	1,463	1,463	1,463			
201	燃料(蒸発ガス)	117,192	114,524	116,301			
203	原油(蒸発ガス)	376	376	376			
311	塗料	216,836	212,515	208,029			
312	印刷インキ	36,727	37,469	38,696			
313	接着剤	36,058	35,241	34,679			
314	粘着剤・剥離剤	6,254	6,618	6,453			
315	ラミネート用接着剤	5,255	5,560	5,384			
316	農薬・殺虫剤等(補助剤)	1,428	1,476	1,399			
317	漁網防汚剤	4,169	4,080	4,077			
322	ゴム溶剤	6,564	7,019	6,575			
323	コンバーティング溶剤	2,679	2,378	2,860			
324	コーティング溶剤	4,091	4,266	4,166			
325	合成皮革溶剤	639	597	654			
326	アスファルト溶剤	95	92	94			
327	光沢加工剤	175	175	175			
328	マーキング剤	50	54	53			
331	工業用洗浄剤	32,217	35,650	36,249			
332	ドライクリーニング溶剤	13,734	12,770	12,559			
333	塗膜剥離剤(リムーバー)	1,232	1,273	1,211			
334	製造機器類洗浄用シンナー	24,021	23,646	23,338			
335	表面処理剤(フラックス等)	620	620	620			
341	試薬	765	933	532			
411	原油(精製時の蒸発)	50	53	56			
421	プラスチック発泡剤	667	632	593			
422	滅菌・殺菌・消毒剤	177	176	177			
423	くん蒸剤	306	295	305			
424	湿し水	113	113	90			
合 計		572,359	568,123	567,691			
削減率(平成 12 年度比) ^注		59%	60%	60%			

注:「削減率(平成 12 年度比)」は、対象年度の排出量に対する対平成 12 年度比(例:1-対象年度/H12)を示す。

前年度と比較して排出量の変化が大きい発生源品目(前年度から±10 % 以上増減)の変動要因を表3-2に示す。なお、増減の要因は主に推計の基礎データとして使用する統計データ(業界団体による生産・出荷量、PRTR届出排出量等)、自主行動計画による捕捉率・使用量・排出量の増減による。

表3-2 前年度からの変化が大きい発生源品目とその変動要因(1/2)

発生源品目 ^{注1}	排出量(t/年)		増減率 (b)/(a)-1 ^{注2}	VOC全体 に占める 割合 ^{注3}	主な変動要因
	R3 (a)	R4 (b)			
103 コークス	111	90	-18 %	0.02 %	排出量の引用先である PRTR の鉄鋼業における「ベンゼン」の大気排出量(届出)が減少したため(<u>111 → 90 t</u>)。令和4年度は自動車向け需要の低迷等により鉄鋼需要が減少したことが、排出量減少要因の一つと考えられる(<u>粗鋼生産量 8%減</u> 、 <u>コークス生産量 5%減</u>)。
323 コンバーティング溶剤	2,378	2,860	<u>20 %</u>	0.5 %	コンバーティング溶剤は、日本染色協会による自主行動計画の VOC 排出量に捕捉率を除した値を計上している(自主行動計画 VOC 排出量÷捕捉率)。日本染色協会による VOC 排出量は前年度から減少したが(<u>925 → 815 t</u>)、会員企業の退会等によって参加企業が減少したため(<u>22 → 16 社</u>)、業界団体の捕捉率(生産量ベース)は減少し(<u>38.9 % → 28.5 %</u>)、結果としてインベントリに計上する排出量が増加した。
325 合成皮革溶剤	597	654	<u>10 %</u>	0.1 %	新型コロナウイルス感染拡大により大幅に減少していたスポーツ用品の需要量が、感染拡大以前の水準まで回復した。これにより、スポーツ用品(ボール、シューズ等)の製造に使用される合成皮革の生産量が増加したことが VOC 排出量増加の要因と考えられる。なお、合成皮革溶剤の VOC 排出量は、PRTR の「プラスチック製品製造業」における「N,N-ジメチルホルムアミド」の大気排出量(届出)を引用している(<u>597 → 654 t</u>)。

注1:前年度から±10%以上の変化があった発生源品目を示す。

注2:前年度から排出量が増加した箇所を太字下線、減少した箇所を網掛けで示す。

注3:各発生源品目が令和4年度の VOC 排出インベントリの総量に対して占める割合を示す。

表 3-2 前年度からの変化が大きい発生源品目とその変動要因(2/2)

発生源品目 ^{注1}	排出量(t/年)		増減率 (b)/(a)-1 ^{注2}	VOC 全体 に占める 割合 ^{注3}	主な変動要因
	R3 (a)	R4 (b)			
341 試薬	933	532	-43 %	0.08 %	試薬の排出量は、東京都による調査結果(H17 出荷量)を、毎年データが得られる塩化メチレン試薬の需要量(クロロカーボン衛生協会調べ)を用いて、年次補正することによって算出している。塩化メチレン試薬の需要量が減少し(<u>712 → 642 t</u>)、かつ、大気排出率(PRTR(届出対象外排出量)の推計に使用される数値を引用)が減少したため(<u>11.0 → 7.0 %</u>)、VOC 排出量が大幅に減少した。なお、塩化メチレン試薬の需要量は、年によって数十～百数十トンの変動がある。大気排出率も限られた件数のアンケート結果から算出された値であるため、変動が大きい年もある。
424 湿し水	113	90	-21 %	0.02 %	日本印刷産業連合会の自主行動計画による湿し水の使用による VOC 排出量が減少したため(<u>102 → 81 t</u>)。湿し水に投入する IPA の削減・代替化・アルコールレス化に関する取組が進められているため、近年は一貫した減少傾向が続いている。 ※VOC 排出量は業界団体の排出量÷捕捉率により算出。業界捕捉率は年度によらず 90%。

注1:前年度から±10%以上の変化があった発生源品目を示す。

注2:前年度から排出量が増加した箇所を太字下線、減少した箇所を網掛けで示す。

注3:各発生源品目が令和4年度の VOC 排出インベントリの総量に対して占める割合を示す。

3.2. 物質分類別 VOC 排出量の推計結果

物質分類別 VOC 排出量の推計結果を図 3-2、表 3-3 に示す。また、参考として成分不明の VOC 排出量を細分化する前の物質分類別 VOC 排出量を図 3-3 に示す。

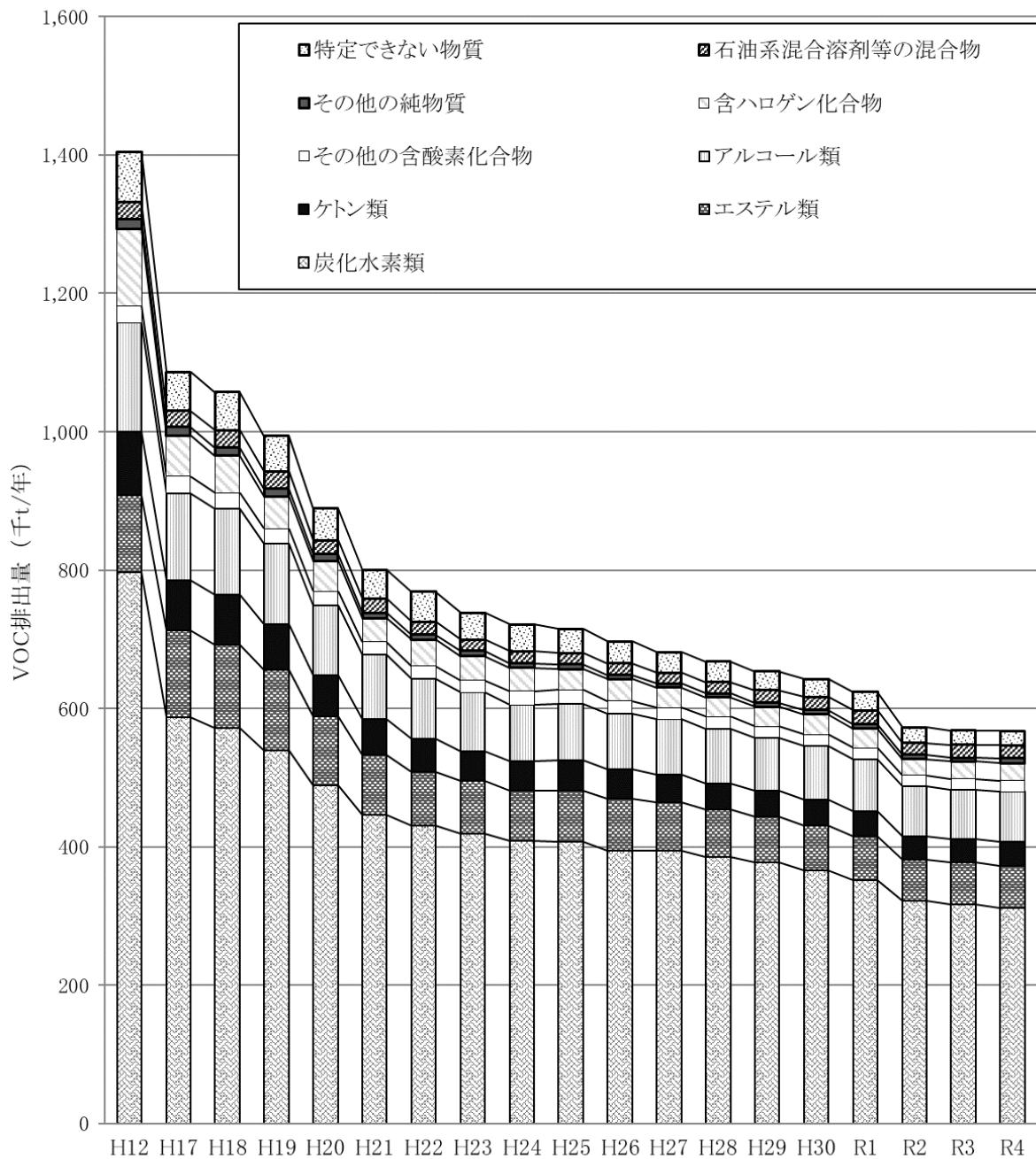


図 3-2 物質分類別 VOC 排出量の推計結果

表 3-3 物質分類別 VOC 排出量の推計結果(1/4)

大分類名		小分類名	VOC 排出量(t/年)				
			平成 12 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
1	炭化水素類	11 アルカン	205,866	184,810	185,615	177,932	166,404
		12 アルケン	50,208	46,343	46,101	44,016	42,446
		13 シクロアルカン	25,696	23,096	21,958	22,421	20,845
		14 シクロアルケン	-	-	-	21	39
		15 芳香族	514,491	332,978	318,095	294,328	259,233
		19 その他の炭化水素類	-	-	-	-	-
2	エステル類	21 鎮状エステル(飽和)	106,687	121,820	116,924	114,670	97,397
		22 鎮状エステル(不飽和)	2,382	1,532	1,246	911	796
		29 その他のエステル類	2,183	2,264	2,035	1,970	1,827
3	ケトン類	31 鎮状ケトン(飽和)	87,442	66,208	67,099	60,685	54,560
		32 鎮状ケトン(不飽和)	-	-	-	7	13
		33 環状ケトン(飽和)	25	1,054	615	817	658
		34 環状ケトン(不飽和)	872	1,084	995	938	837
		39 その他のケトン類	4,014	4,164	3,742	3,622	3,359
4	アルコール類	41 1 倍アルコール	136,086	102,591	104,075	96,163	81,993
		42 2 倍アルコール	2,646	2,970	2,799	2,526	2,347
		49 その他のアルコール類	19,166	19,884	18,000	17,470	16,270
5	その他の含酸素化合物	51 エーテル類	179	180	180	197	212
		52 グリコールエーテル類	13,007	13,243	11,629	11,304	10,514
		53 フエノール類	23	17	12	12	11
		54 アルデヒド類	15	19	20	15	18
		59 その他含酸素化合物	11,067	11,480	10,316	9,985	9,261
6	含ハロゲン化合物	61 含フッ素化合物	2,301	1,128	1,367	1,355	1,273
		62 含塩素化合物(飽和)	66,453	31,396	29,103	25,443	25,071
		63 含塩素化合物(不飽和)	37,194	23,937	21,063	17,376	15,816
		64 含塩素化合物(その他)	212	68	39	10	10
		65 含臭素化合物	4,691	2,490	2,405	2,293	2,173
		66 含ヨウ素化合物	-	-	-	14	23
7	その他の純物質	71 含窒素化合物	7,585	5,146	6,046	5,683	4,268
		72 含硫黄化合物	6,942	6,890	5,746	5,551	5,254
		79 その他の純物質	-	-	-	5	10
8	石油系混合溶剤等の混合物	81 工業ガソリン	3,137	2,298	2,227	1,664	1,623
		82 規格の定まった混合物	489	231	190	234	150
		83 類似の構造を持つ物質の混合物	15,151	14,450	17,121	18,021	14,879
		89 その他の混合物	5,474	6,501	5,731	4,945	3,751
9	特定できない物質	90 特定できない物質	73,118	56,015	54,573	51,193	45,595
合 計			1,404,801	1,086,288	1,057,068	993,797	888,936

表 3-3 物質分類別 VOC 排出量の推計結果(2/4)

大分類名		小分類名	VOC 排出量(t/年)				
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
1	炭化水素類	11 アルカン	158,247	150,349	144,836	152,142	151,570
		12 アルケン	41,769	41,300	40,337	24,464	24,237
		13 シクロアルカン	18,913	17,676	16,984	18,247	19,522
		14 シクロアルケン	50	67	81	403	423
		15 芳香族	226,926	221,256	216,888	213,113	212,186
		19 その他の炭化水素類	-	-	-	-	1
2	エステル類	21 鎮状エステル(飽和)	84,457	75,528	74,080	70,405	70,954
		22 鎮状エステル(不飽和)	937	797	688	666	637
		29 その他のエステル類	1,683	1,633	1,589	1,579	1,538
3	ケトン類	31 鎮状ケトン(飽和)	47,835	43,891	39,002	38,681	39,449
		32 鎮状ケトン(不飽和)	16	22	26	33	39
		33 環状ケトン(飽和)	539	436	311	286	1,237
		34 環状ケトン(不飽和)	790	660	643	684	625
		39 その他のケトン類	3,096	3,006	2,926	2,904	2,828
4	アルコール類	41 1 倍アルコール	73,652	69,319	69,618	66,339	67,074
		42 2 倍アルコール	2,168	1,805	1,757	1,746	1,700
		49 その他のアルコール類	16,795	15,691	13,564	13,407	13,052
5	その他の含酸素化合物	51 エーテル類	221	238	250	3,394	3,392
		52 グリコールエーテル類	9,308	9,099	8,928	8,818	8,424
		53 フェノール類	5	2	3	8	9
		54 アルデヒド類	24	29	30	34	32
		59 その他含酸素化合物	8,532	8,277	8,056	8,007	7,795
6	含ハロゲン化合物	61 含フッ素化合物	1,099	1,118	1,136	630	624
		62 含塩素化合物(飽和)	17,715	19,099	19,739	19,564	16,959
		63 含塩素化合物(不飽和)	13,434	15,946	12,125	11,176	10,927
		64 含塩素化合物(その他)	10	10	10	7	7
		65 含臭素化合物	2,016	2,035	1,970	1,649	1,566
		66 含ヨウ素化合物	31	38	42	50	55
7	その他の純物質	71 含窒素化合物	2,995	1,503	1,897	2,045	2,291
		72 含硫黄化合物	4,836	5,471	5,840	4,919	5,003
		79 その他の純物質	12	17	21	26	31
8	石油系混合溶剤等の混合物	81 工業ガソリン	1,289	1,128	917	796	-
		82 規格の定まった混合物	145	126	108	104	99
		83 類似の構造を持つ物質の混合物	15,726	14,208	14,138	15,435	15,278
		89 その他の混合物	4,001	3,872	883	750	732
9	特定できない物質	90 特定できない物質	41,430	42,854	38,813	39,025	35,018
合 計			800,706	768,504	738,236	721,537	715,312

表 3-3 物質分類別 VOC 排出量の推計結果(3/4)

大分類名		小分類名	VOC 排出量(t/年)				
			平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
1	炭化水素類	11 アルカン	142,608	142,585	139,934	140,805	138,525
		12 アルケン	23,091	23,216	22,888	22,475	22,125
		13 シクロアルカン	19,746	20,127	20,052	21,424	20,710
		14 シクロアルケン	420	439	438	447	434
		15 芳香族	208,199	208,379	201,819	192,911	184,249
		19 その他の炭化水素類	-	7	7	6	6
2	エステル類	21 鎮状エステル(飽和)	73,422	67,542	66,366	63,990	62,838
		22 鎮状エステル(不飽和)	679	560	554	540	460
		29 その他のエステル類	1,379	1,282	1,306	1,197	1,244
3	ケトン類	31 鎮状ケトン(飽和)	38,648	36,088	34,815	34,128	33,471
		32 鎮状ケトン(不飽和)	42	48	49	54	51
		33 環状ケトン(飽和)	1,164	842	909	908	788
		34 環状ケトン(不飽和)	563	527	537	493	511
		39 その他のケトン類	2,537	2,358	2,401	2,202	2,287
4	アルコール類	41 1 倍アルコール	67,136	67,781	66,238	64,555	66,304
		42 2 倍アルコール	1,525	1,417	1,443	1,323	1,375
		49 その他のアルコール類	11,741	10,926	11,147	10,250	10,646
5	その他の含酸素化合物	51 エーテル類	3,274	3,318	3,278	3,231	3,180
		52 グリコールエーテル類	7,692	7,090	7,221	6,740	7,056
		53 フェノール類	8	7	8	6	23
		54 アルデヒド類	37	46	43	40	43
		59 その他含酸素化合物	6,994	6,499	6,619	6,069	6,305
6	含ハロゲン化合物	61 含フッ素化合物	650	650	722	747	773
		62 含塩素化合物(飽和)	18,550	17,371	16,390	17,606	17,483
		63 含塩素化合物(不飽和)	10,634	9,307	8,986	8,945	8,816
		64 含塩素化合物(その他)	7	7	6	7	7
		65 含臭素化合物	1,569	1,465	1,531	1,571	1,600
		66 含ヨウ素化合物	59	70	73	73	67
7	その他の純物質	71 含窒素化合物	2,011	1,786	1,746	1,610	1,507
		72 含硫黄化合物	4,135	4,247	4,209	3,642	5,155
		79 その他の純物質	34	38	38	43	41
8	石油系混合溶剤等の混合物	81 工業ガソリン	-	-	-	-	-
		82 規格の定まった混合物	110	104	109	95	93
		83 類似の構造を持つ物質の混合物	15,855	14,929	15,672	17,703	18,027
		89 その他の混合物	742	719	685	693	697
9	特定できない物質	90 特定できない物質	31,383	29,896	29,219	27,182	25,338
合 計			696,644	681,669	667,456	653,710	642,235

表 3-3 物質分類別 VOC 排出量の推計結果(4/4)

大分類名		小分類名	VOC 排出量(t/年)				
			令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
1	炭化水素類	11 アルカン	132,920	121,349	118,726	119,329	
		12 アルケン	21,375	19,658	19,223	19,499	
		13 シクロアルカン	20,381	18,070	19,061	18,358	
		14 シクロアルケン	423	390	385	384	
		15 芳香族	176,608	162,614	159,399	153,991	
		19 その他の炭化水素類	-	-	7	10	
2	エステル類	21 鎮状エステル(飽和)	61,684	57,349	58,795	59,158	
		22 鎮状エステル(不飽和)	566	567	493	433	
		29 その他のエステル類	1,183	1,166	1,168	1,231	
3	ケトン類	31 鎮状ケトン(飽和)	32,422	30,839	30,159	31,188	
		32 鎮状ケトン(不飽和)	50	46	47	45	
		33 環状ケトン(飽和)	933	895	884	889	
		34 環状ケトン(不飽和)	486	476	476	501	
		39 その他のケトン類	2,176	2,145	2,148	2,263	
4	アルコール類	41 1 倍アルコール	64,291	61,201	60,521	60,510	
		42 2 倍アルコール	1,308	1,289	1,291	1,360	
		49 その他のアルコール類	10,131	9,976	10,006	10,529	
5	その他の含酸素化合物	51 エーテル類	3,083	2,844	2,787	2,822	
		52 グリコールエーテル類	6,721	6,643	6,672	6,894	
		53 フェノール類	30	30	25	26	
		54 アルデヒド類	40	34	35	28	
		59 その他含酸素化合物	6,000	5,912	5,921	6,239	
6	含ハロゲン化合物	61 含フッ素化合物	717	678	733	733	
		62 含塩素化合物(飽和)	17,376	14,711	15,575	15,397	
		63 含塩素化合物(不飽和)	8,372	6,467	7,504	7,863	
		64 含塩素化合物(その他)	7	6	7	7	
		65 含臭素化合物	1,533	1,438	1,508	1,518	
		66 含ヨウ素化合物	64	48	45	44	
7	その他の純物質	71 含窒素化合物	1,537	1,285	1,302	1,057	
		72 含硫黄化合物	4,672	5,186	3,617	5,593	
		79 その他の純物質	40	38	38	37	
8	石油系混合溶剤等の混合物	81 工業ガソリン	-	-	-	-	
		82 規格の定まった混合物	79	95	92	94	
		83 類似の構造を持つ物質の混合物	19,412	15,927	17,932	18,135	
		89 その他の混合物	696	672	691	685	
9	特定できない物質	90 特定できない物質	26,788	22,315	20,850	20,842	
合 計			624,104	572,359	568,123	567,691	

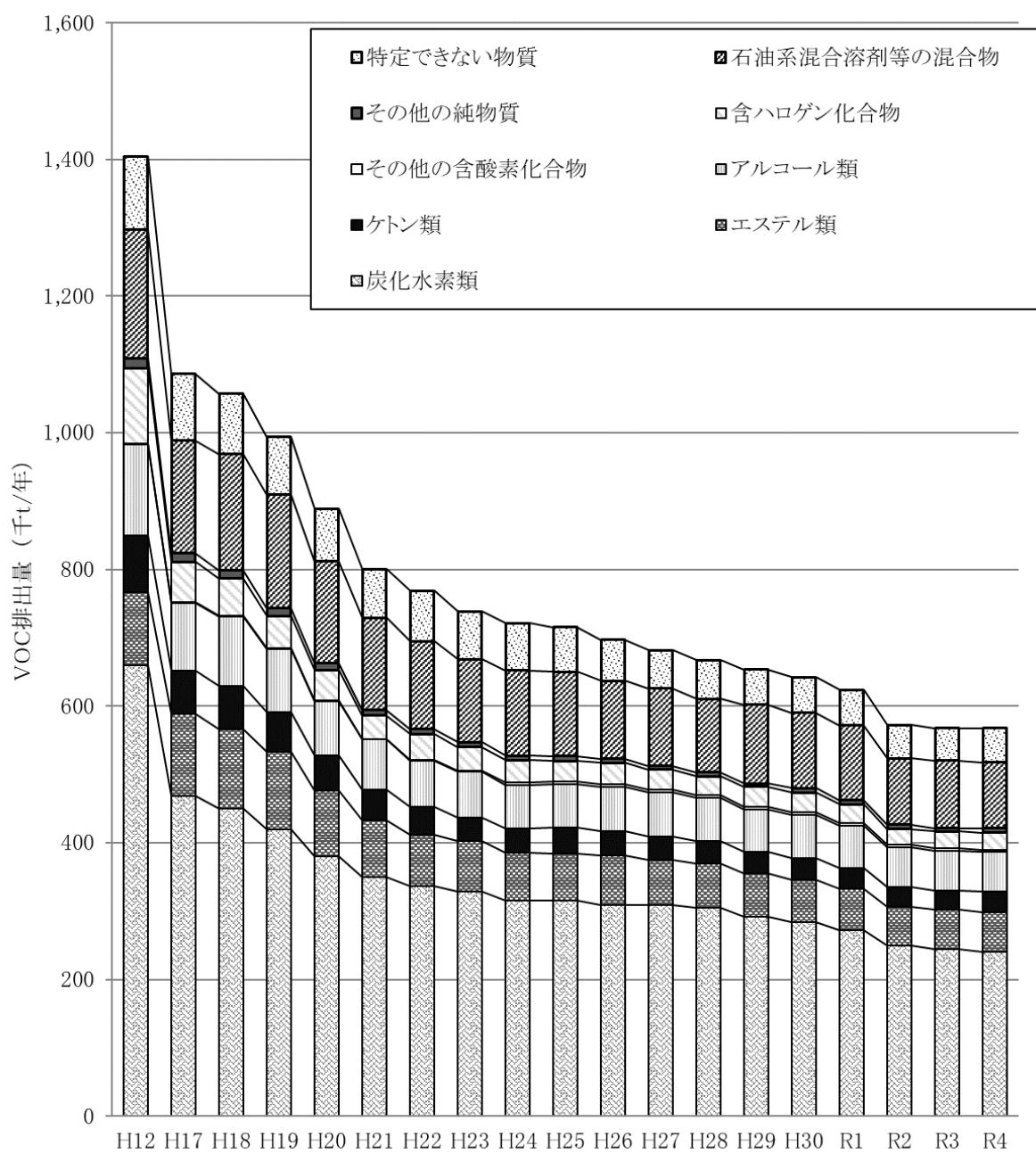


図 3-3 物質分類別 VOC 排出量の推計結果(※細分化前)

物質の炭素数別に VOC 排出量を集計した結果は図 3-4、表 3-4 に示すとおりであり、炭素数 5 及び炭素数 16 以上は、平成 12 年度から排出量が増加している。炭素数 5 の VOC 排出量が増加した主な理由は、燃料(蒸発ガス)(小分類コード:201)の推計で使用する基礎データ(蒸発ガスの組成)を平成 24 年度に変更したことによる(平成 23 年度から 24 年度にかけて階段状に変化)。また、炭素数 16 以上の VOC 排出量が増加した主な理由は、石油系混合溶剤の組成データが得られたことにより、これまで「不明」に計上していた排出量を個別成分に配分できるようになったことによる。

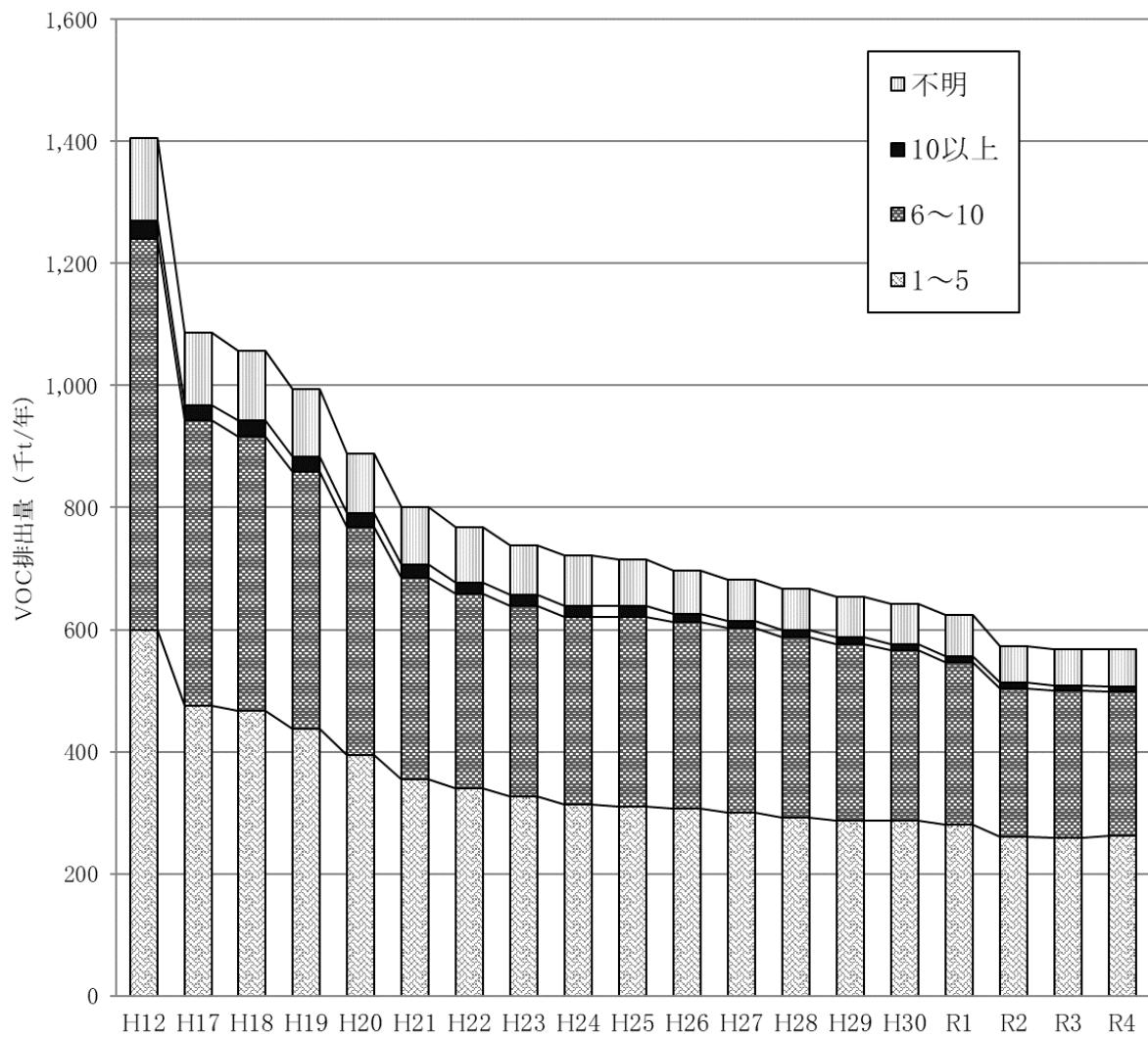


図 3-4 物質の炭素数別 VOC 排出量の推計結果

表 3-4 物質の炭素数別 VOC 排出量の推計結果(1/2)

炭素数	VOC 排出量(t/年)									
	平成 12 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
1	107,790	62,281	59,782	52,381	45,580	38,051	40,037	40,084	38,921	37,791
2	62,864	43,006	42,155	35,074	35,608	30,909	32,596	28,849	27,745	27,802
3	92,827	78,702	76,418	73,332	60,311	53,205	46,373	47,839	46,750	46,138
4	298,748	252,670	251,398	240,243	217,372	198,269	185,669	176,667	129,958	128,782
5	37,402	38,016	37,133	36,368	35,377	34,517	34,482	33,943	69,622	69,598
6	84,462	96,190	93,898	90,546	81,570	73,325	68,810	66,737	66,535	68,232
7	223,558	146,745	136,460	121,012	104,918	87,576	79,993	75,726	72,286	73,445
8	234,061	140,351	131,846	123,709	108,569	100,279	101,273	101,474	99,022	97,287
9	51,979	43,482	44,884	45,061	41,937	37,082	37,874	37,604	39,525	40,925
10	47,083	42,099	43,000	41,445	37,032	32,160	31,619	30,147	31,072	31,481
11	20,586	18,447	19,060	17,791	15,281	12,663	11,852	10,670	10,345	9,753
12	983	883	927	897	798	680	657	614	616	602
13	321	221	224	264	304	344	255	260	273	270
14	4,414	3,034	3,076	3,101	3,255	3,495	1,969	1,810	1,603	1,264
15	2,843	1,954	1,981	2,107	2,341	2,681	1,653	1,672	1,678	1,560
16	48	33	33	253	525	883	803	1,053	1,338	1,561
17	-	-	-	142	324	579	509	677	867	1,004
18	-	-	-	99	221	387	348	456	581	671
19	-	-	-	14	27	41	43	51	64	71
20	-	-	-	7	13	17	22	26	33	39
21	-	-	-	2	4	5	6	7	8	9
23	-	-	-	13	22	30	36	40	48	52
25	-	-	-	1	1	1	1	2	2	2
30	-	-	-	0	1	1	1	1	1	1
不明	134,831	118,174	114,794	109,934	97,546	93,527	91,625	81,827	82,644	76,971
合計	1,404,801	1,086,288	1,057,068	993,797	888,936	800,706	768,504	738,236	721,537	715,312

表 3-4 物質の炭素数別 VOC 排出量の推計結果(2/2)

炭素数	VOC 排出量(t/年)									削減率 (平成 12 年度 比)
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
1	37,254	35,154	32,304	34,251	35,451	35,094	31,536	31,288	31,848	30%
2	27,947	27,889	27,085	27,748	28,187	28,506	25,303	25,670	26,982	43%
3	45,813	44,674	45,674	41,757	42,505	39,972	38,871	40,026	41,388	45%
4	128,981	124,298	119,529	117,385	115,900	112,819	105,610	103,414	103,384	35%
5	67,033	67,447	66,945	65,768	65,427	63,292	58,974	57,803	58,758	157%
6	66,228	62,293	63,064	61,032	60,277	57,310	51,644	52,412	52,724	62%
7	73,759	72,090	70,860	69,808	65,366	62,466	54,847	56,774	53,897	24%
8	95,838	97,297	96,359	83,871	81,916	77,418	73,270	67,955	66,637	28%
9	39,551	40,440	37,889	41,342	39,397	38,806	35,913	36,109	35,040	67%
10	29,790	30,236	28,564	33,002	31,400	30,877	28,170	28,192	27,478	58%
11	8,604	8,172	7,300	8,250	7,804	7,612	6,697	6,603	6,455	31%
12	543	535	489	531	500	487	427	419	409	42%
13	227	243	237	249	233	224	190	183	179	56%
14	505	300	120	85	82	63	67	54	56	1%
15	820	718	608	456	435	349	349	287	295	10%
16	1,087	1,154	1,160	951	911	777	783	694	698	1466%
17	645	677	683	500	479	377	388	315	325	—
18	449	478	485	369	352	286	280	232	238	—
19	62	70	72	66	61	55	46	41	40	—
20	42	48	49	53	50	49	44	44	43	—
21	10	12	12	12	11	11	8	8	7	—
23	56	66	70	69	64	61	46	43	42	—
25	2	3	3	3	2	2	2	2	2	—
30	1	2	2	2	1	1	1	1	1	—
不明	71,398	67,376	67,892	66,151	65,423	67,189	58,892	59,555	60,766	45%
合計	696,644	681,669	667,456	653,710	642,235	624,104	572,359	568,123	567,691	40%

注:「削減率(平成 12 年度比)」は、最新年度の排出量に対する対平成 12 年度比を示す。

次に、光化学オキシダント生成への影響の目安として、炭素数で重み付け(VOC 排出量 × 炭素数)した場合の VOC 排出量を表 3-5 に示す(※光化学オキシダントに対する影響は概ね炭素数に比例するとされる)。令和 4 年度排出量の対 H12 比率は 61 %であり、重み付けする前の排出量(表 3-4)と同程度の削減率であった。

表 3-5 炭素数で重み付けした VOC 大気排出量の推移(1/2)

炭素数	炭素数で重み付けした VOC 排出量 (t/年) (炭素数 × VOC 排出量)									
	平成 12 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
1	107,790	62,281	59,782	52,381	45,580	38,051	40,037	40,084	38,921	37,791
2	62,864	43,006	42,155	35,074	35,608	30,909	32,596	28,849	27,745	27,802
3	92,827	78,702	76,418	73,332	60,311	53,205	46,373	47,839	46,750	46,138
4	298,748	252,670	251,398	240,243	217,372	198,269	185,669	176,667	129,958	128,782
5	37,402	38,016	37,133	36,368	35,377	34,517	34,482	33,943	69,622	69,598
6	84,462	96,190	93,898	90,546	81,570	73,325	68,810	66,737	66,535	68,232
7	223,558	146,745	136,460	121,012	104,918	87,576	79,993	75,726	72,286	73,445
8	234,061	140,351	131,846	123,709	108,569	100,279	101,273	101,474	99,022	97,287
9	51,979	43,482	44,884	45,061	41,937	37,082	37,874	37,604	39,525	40,925
10	47,083	42,099	43,000	41,445	37,032	32,160	31,619	30,147	31,072	31,481
11	20,586	18,447	19,060	17,791	15,281	12,663	11,852	10,670	10,345	9,753
12	983	883	927	897	798	680	657	614	616	602
13	321	221	224	264	304	344	255	260	273	270
14	4,414	3,034	3,076	3,101	3,255	3,495	1,969	1,810	1,603	1,264
15	2,843	1,954	1,981	2,107	2,341	2,681	1,653	1,672	1,678	1,560
16 以上	48	33	33	532	1,137	1,943	1,769	2,313	2,941	3,411
不明	134,831	118,174	114,794	109,934	97,546	93,527	91,625	81,827	82,644	76,971
合計	1,404,801	1,086,288	1,057,068	993,797	888,936	800,706	768,504	738,236	721,537	715,312

注 1:VOC 排出量に炭素数を乗じた値。「削減率(平成 12 年度比)」は、最新年度の排出量に対する対平成 12 年度比を示す。

注 2:炭素数「不明」については、重み付けせずにそのままの数値を記載した。

表 3-5 炭素数で重み付けした VOC 大気排出量の推移(2/2)

炭素数	炭素数で重み付けした VOC 排出量 (t/年) (炭素数 × VOC 排出量)								削減率 (平成 12 年度 比)	
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
1	37,254	35,154	32,304	34,251	35,451	35,094	31,536	31,288	31,848	70%
2	27,947	27,889	27,085	27,748	28,187	28,506	25,303	25,670	26,982	57%
3	45,813	44,674	45,674	41,757	42,505	39,972	38,871	40,026	41,388	55%
4	128,981	124,298	119,529	117,385	115,900	112,819	105,610	103,414	103,384	65%
5	67,033	67,447	66,945	65,768	65,427	63,292	58,974	57,803	58,758	-57%
6	66,228	62,293	63,064	61,032	60,277	57,310	51,644	52,412	52,724	38%
7	73,759	72,090	70,860	69,808	65,366	62,466	54,847	56,774	53,897	76%
8	95,838	97,297	96,359	83,871	81,916	77,418	73,270	67,955	66,637	72%
9	39,551	40,440	37,889	41,342	39,397	38,806	35,913	36,109	35,040	33%
10	29,790	30,236	28,564	33,002	31,400	30,877	28,170	28,192	27,478	42%
11	8,604	8,172	7,300	8,250	7,804	7,612	6,697	6,603	6,455	69%
12	543	535	489	531	500	487	427	419	409	58%
13	227	243	237	249	233	224	190	183	179	44%
14	505	300	120	85	82	63	67	54	56	99%
15	820	718	608	456	435	349	349	287	295	90%
16 以上	2,354	2,509	2,535	2,024	1,932	1,619	1,598	1,379	1,396	-2833%
不明	71,398	67,376	67,892	66,151	65,423	67,189	58,892	59,555	60,766	55%
合計	696,644	681,669	667,456	653,710	642,235	624,104	572,359	568,123	567,691	60%

注 1:VOC 排出量に炭素数を乗じた値。「削減率(平成 12 年度比)」は、最新年度の排出量に対する対平成 12 年度比を示す。

注 2:炭素数「不明」については、重み付けせずにそのままの数値を記載した。

3.3. 業種別 VOC 排出量の推計結果

業種別 VOC 排出量の推計結果を図 3-5、表 3-6 に示す。

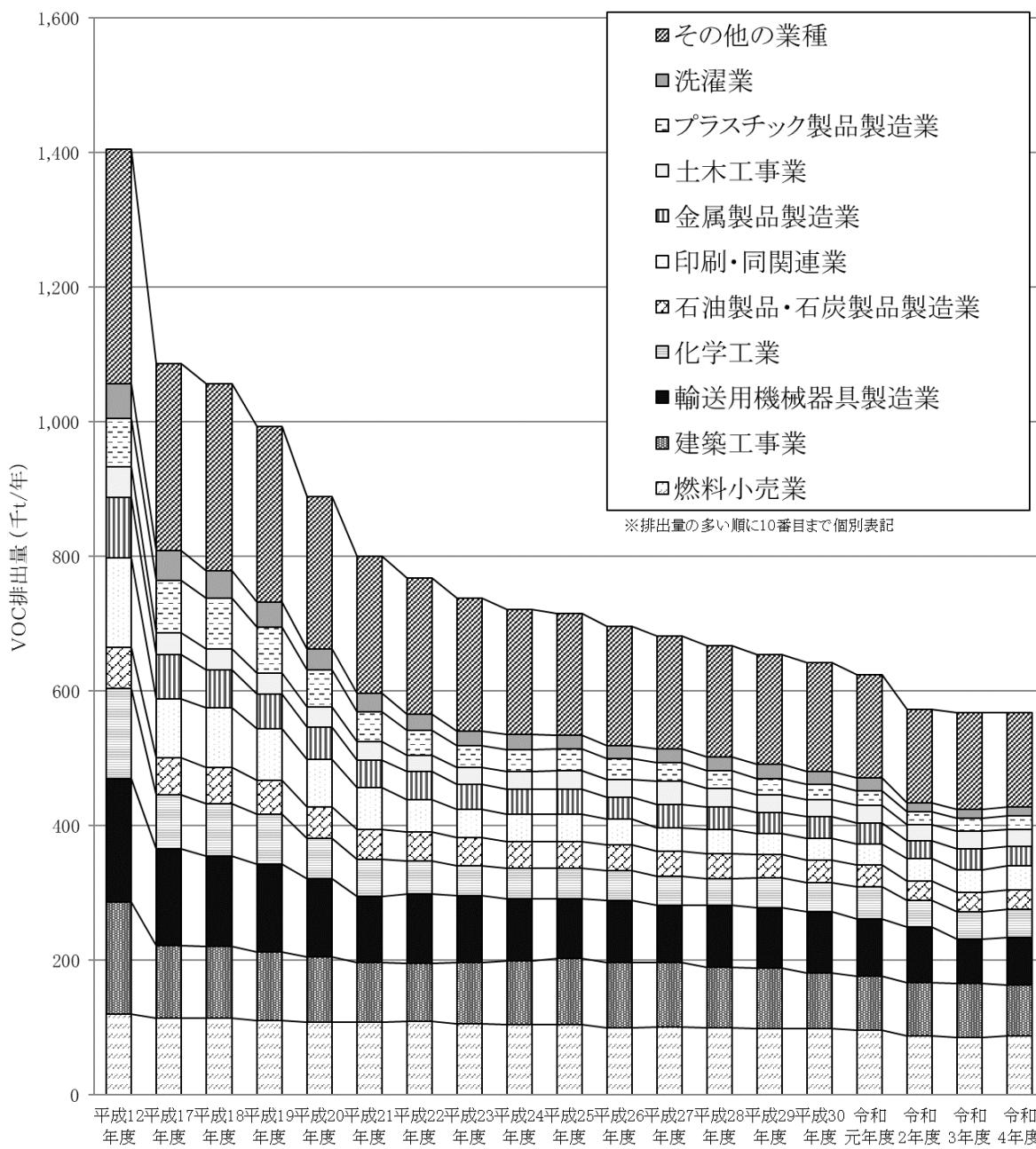
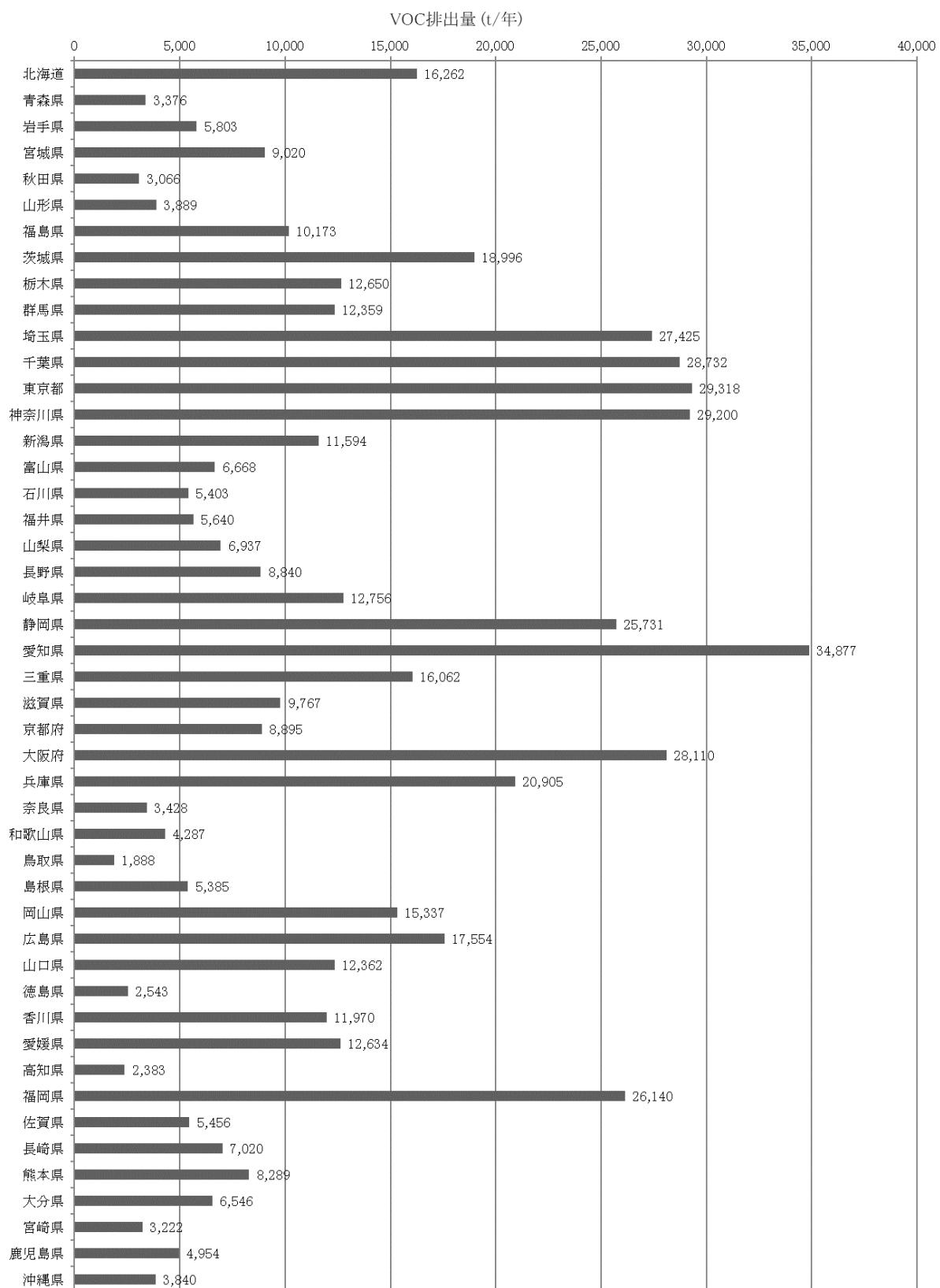


図 3-5 業種別 VOC 排出量の推計結果

表 3-6 業種別 VOC 排出量の推計結果(3/3)

	業種名	VOC 排出量(t/年)						削減率 (平成 12 年度比)
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度				
01	農業	1,352	1,416	1,342				74%
04	水産養殖業	4,169	4,080	4,077				-120%
05	鉱業	1,839	1,839	1,839				29%
06A	土木工事業	23,170	25,649	24,785				45%
06B	建築工事業	78,427	79,674	75,263				55%
06C	舗装工事業	1,362	743	566				92%
09	食料品製造業	5,783	5,611	5,361				7%
10	飲料・たばこ・飼料製造業	11,298	10,724	11,935				3%
11	繊維工業	2,976	2,664	3,161				75%
12	衣服・その他の繊維製品製造業	22	22	35				59%
13	木材・木製品製造業	9,699	9,799	9,438				62%
14	家具・装備品製造業	8,341	8,638	8,117				82%
15	パルプ・紙・紙加工品製造業	9,173	9,130	9,357				68%
16	印刷・同関連業	33,663	34,215	35,497				73%
17	化学工業	39,656	40,107	41,470				69%
18	石油製品・石炭製品製造業	29,107	28,833	28,974				53%
19	プラスチック製品製造業	18,925	19,892	20,208				72%
20	ゴム製品製造業	7,110	7,593	7,278				75%
21	なめし革・同製品・毛皮製造業	725	714	724				77%
22	窯業・土石製品製造業	1,724	2,211	2,433				59%
23	鉄鋼業	3,110	3,541	3,339				65%
24	非鉄金属製造業	3,682	4,276	3,813				63%
25	金属製品製造業	26,789	31,076	29,670				67%
26	一般機械器具製造業	14,111	16,703	15,955				47%
27	電気機械器具製造業	5,051	5,072	4,639				66%
28	情報通信機械器具製造業	1,451	1,479	1,363				81%
29	電子部品・デバイス製造業	4,183	4,495	4,453				47%
30	輸送用機械器具製造業	82,288	66,172	71,415				61%
31	精密機械器具製造業	8,558	9,241	9,451				-10%
32	その他の製造業	5,187	5,342	7,137				66%
33	電気業	-	-	-				-
34	ガス業	-	-	-				-
47	倉庫業	290	291	302				70%
603	燃料小売業	88,206	85,815	87,496				27%
76	学校教育	93	170	103				74%
81	学術・開発研究機関	121	51	89				41%
821	洗濯業	13,734	12,770	12,559				76%
85	廃棄物処理業	-	-	-				-
86	自動車整備業	15,601	16,948	15,716				54%
87	機械修理業	189	229	217				58%
90	その他の事業サービス業	707	514	387				68%
98	特定できない業種	2,395	2,352	2,333				27%
99	家庭	8,095	8,031	5,391				61%
合 計		572,359	568,123	567,691				60%

注:「削減率(平成 12 年度比)」は、最新年度の排出量に対する対平成 12 年度比を示す。



注:この VOC 排出インベントリ・都道府県推計量は全国の VOC 排出インベントリ推計量を都道府県に配分した結果であり、都道府県の実測データなどを集約したものではない。

図 3-6 都道府県別 VOC 排出量の推計結果(令和 4 年度排出量)

参考として、VOC 排出インベントリと PRTR(届出対象業種)における業種コードの対応表を表 3-8 に示す。

表 3-8 VOC 排出インベントリと PRTR(届出対象業種)における業種コードとの対応表

VOC インベントリの業種コードと業種		PRTR における業種コードと業種	
01	農業		—
04	水産養殖業		—
05	鉱業	0500	金属鉱業
		0700	原油・天然ガス鉱業
06A	土木工事業		—
06B	建築工事業		—
06C	舗装工事業		—
09	食料品製造業	1200	食料品製造業
10	飲料・たばこ・飼料製造業	1300	飲料・たばこ・飼料製造業
11	繊維工業(衣類、他の繊維製品を除く)	1400	繊維工業
12	衣服・他の繊維製品製造業	1500	衣服・他の繊維製品製造業
13	木材・木製品製造業(家具を除く)	1600	木材・木製品製造業(家具を除く)
14	家具・装備品製造業	1700	家具・装備品製造業
15	パルプ・紙・紙加工品製造業	1800	パルプ・紙・紙加工品製造業
16	印刷・同関連業	1900	出版・印刷・同関連産業
17	化学工業	2000	化学工業
18	石油製品・石炭製品製造業	2100	石油製品・石炭製品製造業
19	プラスチック製品製造業	2200	プラスチック製品製造業
20	ゴム製品製造業	2300	ゴム製品製造業
21	なめし革・同製品・毛皮製造業	2400	なめし革・同製品・毛皮製造業
22	窯業・土石製品製造業	2500	窯業・土石製品製造業
23	鉄鋼業	2600	鉄鋼業
24	非鉄金属製造業	2700	非鉄金属製造業
25	金属製品製造業	2800	金属製品製造業
26	一般機械器具製造業	2900	一般機械器具製造業
27	電気機械器具製造業		
28	情報通信機械器具製造業	3000	電気機械器具製造業
29	電子部品・デバイス製造業		
30	輸送用機械器具製造業	3100	輸送用機械器具製造業
31	精密機械器具製造業	3200	以下以外の精密機械器具製造業
		3230	医療用機械器具・医療用品製造
32	その他の製造業	3400	その他の製造業
33	電気業	3500	電気業
34	ガス業	3600	ガス業
47	倉庫業	4400	倉庫業
603	燃料小売業	5930	燃料小売業
76	学校教育	9140	高等研究機関
81	学術・開発研究機関	9210	自然科学研究所(※民間企業分は除く)
821	洗濯業	7210	洗濯業
85	産業廃棄物処分業	8722	産業廃棄物処分業
86	自動車整備業	7700	自動車整備業
87	機械修理業	7810	機械修理業
90	その他の事業サービス業		—
98	特定できない業種		—
99	家庭		—

3.5. 発生源品目別 VOC 排出量の変動状況

発生源品目別の VOC 排出量の変動状況を表 3-9、表 3-10 に示す。

表 3-9 発生源品目別 VOC 排出量の変動状況(平成 12 年度から令和 4 年度)

発生源品目	排出量(t/年)		H12 から R4 にかけての増減 (c)=(b)-(a)	H12 からの 削減割合 (c)/(a)	合計削減 量への 寄与率	排出量の 推計パター ン分類
	H12 (a)	R4 (b)				
101 化学品	136,229	43,154	-93,075	-68.3 %	11.1 %	B・C
102 食料品等(発酵)	18,075	17,284	-791	-4.4 %	0.1 %	A
103 コークス	317	90	-227	-71.5 %	0.03 %	C
104 天然ガス	1,611	1,463	-148	-9.2 %	0.02 %	B
201 燃料(蒸発ガス)	182,077	116,301	-65,775	-36.1 %	7.9 %	A・B
203 原油(蒸発ガス)	993	376	-617	-62.1 %	0.1 %	B
311 塗料	534,672	208,029	-326,643	-61.1 %	39.0 %	A
312 印刷インキ	129,909	38,696	-91,212	-70.2 %	10.9 %	A
313 接着剤	68,027	34,679	-33,348	-49.0 %	4.0 %	A
314 粘着剤・剥離剤	43,373	6,453	-36,920	-85.1 %	4.4 %	B
315 ラミネート用接着剤	22,191	5,384	-16,807	-75.7 %	2.0 %	B・C
316 農薬・殺虫剤等(補助剤)	3,390	1,399	-1,990	-58.7 %	0.2 %	C
317 漁網防汚剤	1,854	4,077	2,223	119.9 %	-0.3 %	C
322 ゴム溶剤	25,841	6,575	-19,266	-74.6 %	2.3 %	B
323 コンバーティング溶剤	11,839	2,860	-8,979	-75.8 %	1.1 %	B
324 コーティング溶剤	2,690	4,166	1,476	54.9 %	-0.2 %	B・C
325 合成皮革溶剤	1,703	654	-1,049	-61.6 %	0.1 %	B・C
326 アスファルト	402	94	-308	-76.7 %	0.04 %	A
327 光沢加工剤	763	175	-588	-77.0 %	0.1 %	B
328 マーキング剤	195	53	-143	-73.0 %	0.02 %	B
331 工業用洗浄剤	83,531	36,249	-47,282	-56.6 %	5.6 %	A
332 ドライクリーニング溶剤	51,537	12,559	-38,978	-75.6 %	4.7 %	A
333 塗膜剥離剤(リムーバー)	7,060	1,211	-5,850	-82.9 %	0.7 %	A
334 製造機器類洗浄用シンナー	61,622	23,338	-38,284	-62.1 %	4.6 %	D
335 表面処理剤(フラックス等)	923	620	-303	-32.8 %	0.04 %	A
341 試薬	1,241	532	-708	-57.1 %	0.08 %	A
411 原油(精製時の蒸発)	86	56	-31	-35.5 %	0.004 %	A
421 プラスチック発泡剤	3,353	593	-2,760	-82.3 %	0.3 %	A
422 減菌・殺菌・消毒剤	177	177	-0.5	-0.3 %	0.0001 %	A
423 くん蒸剤	3,692	305	-3,388	-91.7 %	0.4 %	A
424 湿し水	5,429	90	-5,339	-98.3 %	0.6 %	B
合 計	1,404,801	567,691	-837,110	-59.6 %	100 %	—

注:発生源品目排出量の推計パターン分類は

A:排出係数型の推計、B:自主行動計画型の推計、C:PRTR 引用型の推計、D:その他の型の推計

表 3-10 発生源品目別 VOC 排出量の変動状況(令和 3 年度から令和 4 年度)

発生源品目	排出量(t/年)		R3 から R4 にかけての 増減 (c)=(b)-(a)	R3 からの削減 割合 (c)/(a)	合計削減 量への 寄与率	排出量の 推計パタ ーン分類
	R3 (a)	R4 (b)				
101 化学品	41,636	43,154	1,518	3.6 %	-351.7 %	B・C
102 食料品等(発酵)	16,315	17,284	969	5.9 %	-224.6 %	A
103 コークス	111	90	-20	-18.4 %	4.7 %	C
104 天然ガス	1,463	1,463	0	0 %	0 %	B
201 燃料(蒸発ガス)	114,524	116,301	1,778	1.6 %	-411.9 %	A・B
203 原油(蒸発ガス)	376	376	0	0 %	0 %	B
311 塗料	212,515	208,029	-4,486	-2.1 %	1039.4 %	A
312 印刷インキ	37,469	38,696	1,227	3.3 %	-284.3 %	A
313接着剤	35,241	34,679	-562	-1.6 %	130.2 %	A
314 粘着剤・剥離剤	6,618	6,453	-165	-2.5 %	38.3 %	B
315 ラミネート用接着剤	5,560	5,384	-175	-3.2 %	40.6 %	B・C
316 農薬・殺虫剤等(補助剤)	1,476	1,399	-77	-5.2 %	17.8 %	C
317 漁網防汚剤	4,080	4,077	-3	-0.1 %	0.7 %	C
322 ゴム溶剤	7,019	6,575	-444	-6.3 %	102.8 %	B
323 コンバーティング溶剤	2,378	2,860	482	20.3 %	-111.6 %	B
324 コーティング溶剤	4,266	4,166	-101	-2.4 %	23.3 %	B・C
325 合成皮革溶剤	597	654	57	9.6 %	-13.3 %	B・C
326 アスファルト	92	94	2	2.4 %	-0.5 %	A
327 光沢加工剤	175	175	0	0 %	0 %	B
328 マーキング剤	54	53	-1	-1.7 %	0.2 %	B
331 工業用洗浄剤	35,650	36,249	600	1.7 %	-138.9 %	A
332 ドライクリーニング溶剤	12,770	12,559	-211	-1.6 %	48.8 %	A
333 塗膜剥離剤(リムーバー)	1,273	1,211	-62	-4.9 %	14.3 %	A
334 製造機器類洗浄用シンナー	23,646	23,338	-308	-1.3 %	71.4 %	D
335 表面処理剤(フラックス等)	620	620	0	0 %	0 %	A
341 試葉	933	532	-401	-42.9 %	92.8 %	A
411 原油(精製時の蒸発)	53	56	3	5.9 %	-0.7 %	A
421 プラスチック発泡剤	632	593	-39	-6.2 %	9.1 %	A
422 滅菌・殺菌・消毒剤	176	177	1	0.6 %	-0.3 %	A
423 くん蒸剤	295	305	10	3.4 %	-2.3 %	A
424 湿し水	113	90	-23	-20.7 %	5.4 %	B
合 計	568,123	553,693	-14,430	-2.5 %	100 %	—

注:発生源品目排出量の推計パターン分類は

A:排出係数型の推計、B:自主行動計画型の推計、C:PRTR 引用型の推計、D:その他の型の推計

表 3-11 業種別・発生源品目別排出量の例(令和 3 年度)(3/4)

[単位:t/年]

発生源品目コード	発生源品目	業種										
		25 金属製品製造業	26 一般機械器具製造業	27 電気機械器具製造業	28 情報通信機器具製造業	29 電子部品・デバイス製造業	30 輸送用機械器具製造業	31 精密機械器具製造業	32 その他製造業	33 電気業	34 ガス業	47 倉庫業
101	化学品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
102	食料品等(発酵)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
103	コークス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
104	天然ガス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
201	燃料(蒸発ガス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
203	原油(蒸発ガス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
311	塗料	17,294	13,009	3,176	872	323	55,297	428	4,662	-	-	-
312	印刷インキ	813	-	-	-	-	-	-	409	-	-	-
313	接着剤	1,335	-	258	34	27	6,966	110	696	-	-	-
314	粘着剤・剥離剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
315	テミネート用接着剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
316	農薬・殺虫剤等(補助剤)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
317	漁網防汚剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
322	ゴム溶剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
323	コンバーティング溶剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
324	コーティング溶剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
325	合成皮革溶剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
326	アスファルト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
327	光沢加工剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328	マーキング剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
331	工業用洗浄剤	8,548	1,815	287	379	4,073	3,770	8,830	852	-	-	-
332	ドライクリーニング溶剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
333	塗膜剥離剤(リムーバー)	101	76	18	5	2	322	2	27	-	-	-
334	製造機器類洗浄用シンナー	1,578	1,056	279	73	28	5,054	44	468	-	-	0
335	表面処理剤(フラックス等)	-	-	620	-	-	-	-	-	-	-	-
341	試薬	1	0	-	-	-	6	1	0	-	-	0
411	原油(精製時の蒸発)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
421	プラスチック発泡剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
422	滅菌・殺菌・消毒剤	-	-	-	-	-	-	36	23	-	-	-
423	くん蒸剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	301
424	湿し水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		29,670	15,955	4,639	1,363	4,453	71,415	9,451	7,137	0	0	302

表 3-11 業種別・発生源品目別排出量の例(令和4年度)(4/4)

[単位:t/年]

発生源品目コード	発生源品目	業種									
		603 燃料小売業	76 学校教育	81 学術・開発研究機関	821 洗濯業	85 産業廃棄物処分業	86 自動車整備業	87 機械修理業	90 その他の事業サービス業	98 特定できない業種	99 家庭
101	化学品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
102	食料品等(発酵)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
103	コークス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
104	天然ガス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
201	燃料(蒸発ガス)	87,496	-	-	-	-	-	-	-	-	-
203	原油(蒸発ガス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
311	塗料	-	-	-	-	-	14,507	200	-	-	4,769
312	印刷インキ	-	-	-	-	-	-	-	-	1,344	-
313	接着剤	-	-	-	-	-	-	-	-	814	171
314	粘着剤・剥離剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
315	ラミネート用接着剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
316	農薬・殺虫剤等(補助剤)	-	-	-	-	-	-	-	17	-	40
317	漁網防汚剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
322	ゴム溶剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
323	コンバーティング溶剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
324	コーティング溶剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
325	合成皮革溶剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
326	アスファルト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
327	光沢加工剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328	マーキング剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
331	工業用洗浄剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
332	ドライクリーニング溶剤	-	-	-	12,559	-	-	-	-	-	-
333	塗膜剥離剤(リムーバー)	-	-	-	-	-	-	84	1	-	28
334	製造機器類洗浄用シンナー	-	25	21	-	-	1,124	16	59	175	383
335	表面処理剤(フラックス等)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
341	試薬	-	78	68	-	-	-	-	189	-	-
411	原油(精製時の蒸発)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
421	プラスチック発泡剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
422	滅菌・殺菌・消毒剤	-	-	-	-	-	-	-	119	-	-
423	くん蒸剤	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
424	湿し水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		87,496	103	89	12,559	0	15,716	217	387	2,333	5,391

参考資料

参考資料2 発生源品目別の計算式及び使用したデータの概要

付表2(1/13)

発生源品目コード	発生源品目	VOC 排出量推計の計算式用データ 計算式 【(基礎データ／捕捉率)×排出係数】 各発生源品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備 考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
101	化学品 化学品の製造工場における大気排出量	①(一社)日本塗料工業会の VOC 自主行動計画の排出量	0.984(※R4)	—	<p>・業種別排出量は、①～⑤を化学工業に、⑥をパルプ・紙・紙加工品製造業に配分</p>
		【出典】 (一社)日本塗料工業会の VOC 自主行動計画	【出典】同左	—	
		②印刷インキ工業連合会の VOC 自主行動計画の排出量	0.90(※H12～)	—	
		【出典】 印刷インキ工業連合会の VOC 自主行動計画	【出典】同左	—	
		③日本接着剤工業会の VOC 自主行動計画の排出量	0.67(※H12～)	—	
		【出典】 日本接着剤工業会の VOC 自主行動計画	【出典】同左	—	<p>・物質別排出量は、①～⑤は各工業団体の VOC 自主行動計画に示されており、⑥は二硫化炭素である</p>
		④(一社)日本表面処理機材工業会の VOC 自主行動計画の排出量	0.95(※H12～)	—	
		【出典】 (一社)日本表面処理機材工業会の VOC 自主行動計画	【出典】同左	—	
		⑤(一社)日本化学工業協会の VOC 自主行動計画の排出量	0.54(※R4)	—	
		【出典】 (一社)日本化学工業協会の VOC 自主行動計画	【出典】(一社)日本化学工業協会調べ	—	
		⑥パルプ・紙・紙加工品製造業における二硫化炭素の大気排出量	1.00	—	
		【出典】 PRTR 届出データ(パルプ・紙・紙加工品製造業における二硫化炭素の大気排出量)	パルプ・紙・紙加工品製造業の PRTR 大気排出量データはセロファン製造会社のすべてを含むものとみなす	—	

注 1: 基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ／捕捉率×排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ／捕捉率】

注 2: 計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

付表2(2/13)

発生源品目コード	発生源品目	VOC 排出量推計の計算式用データ 計算式【(基礎データ/捕捉率)×排出係数】 各発生源品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
102	食料品等(発酵) 食料品や飲料の製造段階で生成するアルコール等の漏洩による大気排出量	①国内のパン(食パン、菓子パン、学給パン)の製造量(t/年)	1.00	0.0045(t/t)	<p>・業種別排出量は、①は食料品製造業に、②は飲料・たばこ・飼料製造業に配分</p> <p>・物質別排出量は、エチルアルコールに配分</p> <p>※流通、消費段階での排出は含まない</p>
		【出典】 「米麦加工食品生産動態統計調査年報」農林水産省総合食料局食糧部消費流通課	政府統計データ (国内全て捕捉)	パン1トン製造で排出されるNMVOC(非メタン炭化水素)の量 【出典】欧州環境機関EMEP/EEA air pollutant emission inventory guidebook2009	
		②国内の酒類の製成数量(L/年)	1.00	[清酒] 8.0×10^{-7} (t/L) [焼酎] 1.0×10^{-6} (t/L) [ビール] 3.5×10^{-7} (t/L) [ウイスキー類] 6.0×10^{-5} (t/L) 等	
103	コークス 製鉄の一環として石炭からコークスを製造する際に製造されるベンゼンの製造施設からの漏えいによる大気排出量	鉄鋼業におけるベンゼンの大気排出量	1.00	-	<p>・業種別排出量は鉄鋼業に配分</p> <p>・物質別排出量はベンゼンに配分</p>
		【出典】 PRTR 届出データ(鉄鋼業からのベンゼンの大気排出量)	PRTR 届出データは鉄鋼業の全事業所が含まれるので捕捉率を1.00とみなす		
104	天然ガス 天然ガスに含まれる水分や炭酸の除去装置からの排出、輸送パイプラインの移設やプラント工事の際に漏洩する天然ガスの大気排出量	[天然ガス製造設備の水分除去装置(グライコール再生装置)、脱炭酸ガス装置からの VOC 排出量] + [天然ガス製造設備の工事に伴う放散ガスの VOC 排出量] + [原料貯蔵タンクの VOC 排出量] + [原油出荷装置の VOC 排出量]	1.00	-	<p>・業種別排出量は鉱業に配分</p> <p>・物質別排出量は主にエタン、プロパン、ブタン等であるが、それらがすべてでないため、その他(炭化水素)に配分</p>
		【出典】天然ガス鉱業会の自主行動計画(天然ガス部分)	天然ガス鉱業会会員企業の生産量(天然ガス鉱業会調査)と、資源・エネルギー統計年報の国内生産量が一致するため、1.00とみなす		

注1:基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率×排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率】

注2:計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

付表2(3/13)

発生源品目コード	発生品目	VOC排出量推計の計算式用データ 計算式【(基礎データ/捕捉率)×排出係数】 各発生品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
201	燃料(蒸発ガス) 原油基地、製油所、油槽所、給油所における燃料(ガソリン、原油、ナフサ等)の貯蔵・出荷・給油に伴う蒸発による大気排出量	①原油基地・製油所・油槽所におけるVOC排出量(原油基地・製油所・油槽所の燃料の貯蔵・出荷に係るVOC排出)	1.00	—	・業種別排出量は原油基地・製油所・油槽所の排出が石油製品・石炭製品製造業に、ガス製造所の排出がガス業に、給油所の排出が燃料小売業に配分
		【出典】石油連盟の自主行動計画	石油連盟加盟事業者率1.00を捕捉率とみなす	—	・石油基地の浮き屋根タンクからのVOC排出量はゼロとみなす
		②ガス製造所のナフサタンクからのVOC排出量	1.00	—	・物質別排出量はガソリン給油時のVOC排出に含まれる物質群(「ガソリン給油ロスによるVOCの排出について」東京都環境科学研究所、大気環境学会誌、第47巻、pp231-240(2012))を参照し、32物質に配分
		【出典】(一社)日本ガス協会のVOC自主行動計画の排出量	(一社)日本ガス協会加盟事業者率1.00を捕捉率とみなす	—	※原油基地・製油所・油槽所におけるVOCの成分は「都市域におけるVOCの動態解明と大気質に及ぼす影響評価に関する研究」(国立環境研究所、平成10~12年度)を参照
		③給油所におけるガソリン(揮発油)の販売量(kl/年)	1.00	<受入ロス(kg/kL)> (0.46×気温+13.92)/21 (※蒸気回収装置の設置義務がある都道府県は0.15を乗じる) <給油ロス(g/L)> 0.0359×A-0.0486×B -0.0092×C+0.0149 ×D-0.1804 A:車両タンク内燃料温度(℃)、B:車両タンク内燃料温度と給油される燃料の温度差(℃) C:給油速度(L/min)、 D:リード蒸気圧(kPa)	※原油基地・製油所・油槽所におけるVOCの成分は「都市域におけるVOCの動態解明と大気質に及ぼす影響評価に関する研究」(国立環境研究所、平成10~12年度)を参照
		【出典】 ・「都道府県別販売実績」 石油連盟 ・「ガソリン 国内販売量」 資源・エネルギー統計年報	石油連盟加盟事業者率1.00を捕捉率とみなす	—	
		原油貯蔵タンク、原油出荷装置からのVOC排出量	1.00	—	
203	原油(蒸発ガス) 国内における原油採掘の際、原油をタンクに貯蔵する、タンカーに積み込むなど流通段階における漏洩による大気排出量	【出典】天然ガス鉱業会のVOC自主行動計画の排出量のうち、原油貯蔵タンク、原油出荷装置からのVOC排出量分	天然ガス鉱業会の事業者加盟率1.00を捕捉率とみなす	—	・業種別排出量は鉱業 ・物質別排出量は定量的成分表記不能のため、その他石油系混合溶剤(原油)に分類

注1:基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率×排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率】

注2:計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

付表2(4/13)

発生源品目コード	発生源品目	VOC 排出量推計の計算式用データ 計算式 【(基礎データ／捕捉率)×排出係数】 各発生源品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備 考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
311	塗料 工業製品や建築物等の塗装に使用される塗料に含まれる溶剤使用段階での大気排出量	塗料の使用に係る VOC 排出量	1.00	— （一社）日本塗料工業会でほぼ全部を把握しているため、捕捉率を 1.00 とみます	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別排出量は産業連関表に基づく塗料の需要分野に対応する 27 業種に配分 ・物質別排出量はキシレン等 9 物質、石油系炭化水素類、特定できない物質に配分 <p>※1) 塗料製造段階の大気排出は「化学品」に入る ※2) 塗料使用段階の塗装機器の洗浄用溶剤の使用に係る VOC 排出量は「製造機器類洗浄用シンナー」に入る</p>
		【出典】 「塗料からの VOC 排出実態推計のまとめ」 （一社）日本塗料工業会 (毎年 3 月刊行)			
312	印刷インキ 印刷インキの使用に係る大気排出量	①平版インキの VOC 使用量(t/年) (平版インキ販売量 × VOC 含有率)	1.00	0.081(※H30)	<ul style="list-style-type: none"> ・各インキの基礎データは、需要分野や物質への割り振りには別途「収束計算」を実施した
		【出典】 ・インキ使用量は印刷インキ工業連合会調査及び日本印刷産業連合会「自主行動計画及び実施状況」記載の高沸点溶剤使用量 ・VOC 含有率は印刷インキ工業連合会推計	印刷インキ工業連合会の調査データ及び日本印刷産業連合会「自主行動計画及び実施状況」記載の高沸点溶剤使用量を 1.00 とみます	【出典】(一社) 日本印刷産業連合会の VOC 自主行動計画	
		②樹脂凸版インキの VOC 使用量(t/年) (樹脂凸版インキ販売量 × (VOC 含有率 + 希釀溶剤混合率))	1.00	0.900	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別排出量は、需要分野別販売量を印刷インキの需要分野と産業連関表に基づく対応 7 業種に配分 ・物質別排出量は印刷インキ工業連合会調査と高沸点溶剤((一社)日本印刷産業連合会)によって 22 種に配分
		【出典】 ・インキ使用量は印刷インキ工業連合会調査 ・希釀率は「炭化水素類排出量調査報告書」東京都(2002 年 1 月)を参照 ・VOC 含有率は印刷インキ工業連合会推計	印刷インキ工業連合会の調査データを 1.00 とみます	【出典】 (一社) 日本印刷産業連合会推計 (平成12年度から固定)	

注 1: 基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ／捕捉率 × 排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ／捕捉率】

注 2: 計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

付表2(5/13)

発生源品目コード	発生源品目	VOC 排出量推計の計算式用データ 計算式【(基礎データ/捕捉率)×排出係数】 各発生源品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
312	印刷インキ 印刷インキの使用に係る大気排出量	③金属印刷インキの VOC 使用量(t/年) (金属印刷インキ販売量×VOC 含有率)	1.00	0.834	
		【出典】 ・インキ使用量は印刷インキ工業連合会調査及び日本印刷産業連合会「自主行動計画及び実施状況」記載の高沸点溶剤使用量 ・VOC 含有率は印刷インキ工業会推計	印刷インキ工業連合会の調査データ及び日本印刷産業連合会「自主行動計画及び実施状況」記載の高沸点溶剤使用量を 1.00 とみなす	【出典】「炭化水素類排出量調査報告書」東京都(2002 年 1 月)の平成 12 年度の出荷量と大気排出量の比率	
		④グラビアインキの VOC 使用量(t/年) (グラビアインキ販売量×(VOC 含有率+希釈溶剤混合率))	1.00	0.179(※H30)	
		【出典】 ・インキ販売量は「化学工業統計年報」経済産業省 ・希釈率は印刷インキ工業会推計 ・VOC 含有率は印刷インキ工業会推計	印刷インキ工業連合会の調査データを 1.00 とみなす	【出典】 「(一社)日本印刷産業連合会の VOC 自主行動計画」	
		⑤その他インキの VOC 使用量(t/年) (その他インキ販売量×(VOC 含有率+希釈溶剤混合率))	1.00	0.814	
		【出典】 ・インキ使用量は印刷インキ工業連合会調査及び日本印刷産業連合会「自主行動計画及び実施状況」記載の高沸点溶剤使用量 ・希釈率と VOC 含有率は「炭化水素類排出量調査報告書」東京都(2002 年 1 月)を参照	印刷インキ工業連合会の調査データ及び日本印刷産業連合会「自主行動計画及び実施状況」記載の高沸点溶剤使用量を 1.00 とみなす	【出典】 「炭化水素類排出量調査報告書」東京都(2002 年 1 月)の平成 12 年度の出荷量と大気排出量の比率	
		⑥新聞インキの VOC 使用量(t/年) (販売量×VOC 含有率)	1.00	0.193	
		【出典】 ・インキ使用量は印刷インキ工業連合会調査及び日本印刷産業連合会「自主行動計画及び実施状況」記載の高沸点溶剤使用量 ・VOC 含有率は印刷インキ工業会推計	印刷インキ工業連合会の調査データ及び日本印刷産業連合会「自主行動計画及び実施状況」記載の高沸点溶剤使用量を 1.00 とみなす	【出典】 「炭化水素類排出量調査報告書」東京都(2002 年 1 月)の平成 12 年度の出荷量と大気排出量の比率	

注 1: 基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率×排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率】

注 2: 計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

付表2(6/13)

発生源品目コード	発生源品目	VOC 排出量推計の計算式用データ 計算式【(基礎データ/捕捉率)×排出係数】 各発生源品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
313	接着剤 接着剤の使用に係る大気排出量	①接着剤製造に係る VOC 使用量(t/年)	1.00	1.00	・業種別排出量、物質別排出量は、「接着剤種類別・需要分野別 VOC 含有率」日本接着剤工業会、「産業連関表(需要分野ごとの業種別接着剤使用量構成比)」総務省のデータに基づき配分率が決まる
		【出典】 「接着剤の製造に係る VOC 使用量」日本接着剤工業会	日本接着剤工業会加盟事業者が接着剤の国内生産のほとんどを占め捕捉率を 1.00 とみなす	日本接着剤工業会において、VOC 使用量すべてが大気排出されるとみなす	
		②塩素系溶剤の用途別需要のうち接着剤分(t/年)	1.00	1.00	
		【出典】 「塩素系溶剤の用途別需要」クロロカーボン衛生協会	クロロカーボン衛生協会による推定を全量とみなす	接着剤の VOC 使用量のすべてが大気排出されるとみなす	
314	粘着剤・剥離剤 粘着テープ等の製造に使用される粘着剤・剥離剤に含まれる溶剤の大気排出量	①日本製紙連合会の VOC 自主行動計画の排出量(剥離剤部分)	0.63(※H17~)	—	・業種別排出量は、日本製紙連合会、印刷用粘着紙メーカー会分をパルプ・紙・紙加工品製造業、また、日本粘着テープ工業会、日本ポリエチレンラミネット製品工業会分をプラスチック製品製造業に配分
		【出典】 日本製紙連合会の VOC 自主行動計画	(平成 19 年度推計以降、本インベントリ調査において固定) ・捕捉率は粘着剤・剥離剤の代表物質トルエンの PRTR 届出排出量の比(業界団体加盟 65 事業所のトルエンの PRTR 届出排出量 / 粘着剤・剥離剤関連の全 86 事業所のトルエンの PRTR 届出排出量)で考える	—	
		②印刷用粘着紙メーカー会の調査による VOC 排出量	0.63(※H17~)	—	
		【出典】 印刷用粘着紙メーカー会の VOC 排出量調査	(平成 19 年度推計以降、本インベントリ調査において固定)	—	
		③日本粘着テープ工業会の VOC 自主行動計画の排出量	0.63(※H17~)	—	・物質別排出量は、トルエンなどの 8 種で、各業界 VOC 自主行動計画の物質別配分比に基づき配分
		【出典】 日本粘着テープ工業会の VOC 自主行動計画	(平成 19 年度推計以降、本インベントリ調査において固定)	—	
		④日本ポリエチレンラミネット製品工業会の VOC 自主行動計画の排出量(粘着剤・剥離剤部分)	0.63(※H17~)	—	
		【出典】 日本ポリエチレンラミネット製品工業会の VOC 自主行動計画	(平成 19 年度推計以降、本インベントリ調査において固定)	—	

注 1: 基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率×排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率】

注 2: 計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

付表2(7/13)

発生源品目コード	発生源品目	VOC 排出量推計の計算式用データ 計算式【(基礎データ／捕捉率)×排出係数】 各発生源品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備 考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
315	ラミネート用接着剤 ラミネート加工で基材とラミネートを貼り合わせる接着剤に含まれる溶剤の大気排出量	①日本ポリエチレンラミネート製品工業会の VOC 自主行動計画の排出量(ラミネート用接着剤部分)	—	※物質別への配分に使用	・業種別排出量は、90%プラスチック製品製造業、10%印刷・同関連業に配分(日本印刷産連合会推計)
		【出典】 ・日本ポリエチレンラミネート製品工業会の VOC 自主行動計画(会員企業へのアンケート調査結果)	—		
		②PRTRによるプラスチック製品製造業の大気中への排出量	—	VOC 排出量 $=0.000015 \times A^2 + 0.1539 \times A$ A:PRTR 大気排出量プラスチック製品製造業(kg/年)	
		【出典】 ・PRTR 届出、すそ切り以下	—		
316	農薬・殺虫剤等(補助剤) 農薬、家庭用殺虫剤、防疫用殺虫剤等の使用による大気排出量	農薬・殺虫剤等の使用に係る VOC 排出量推計値	1.00	—	・業種排出量は、農業、家庭、その他の事業サービス業に配分 ・物質別排出量はキシレンなどで PRTR 届出外排出量の物質別配分比に基づき配分率が決まる
		【出典】 PRTR 届出外排出量推計(農薬・殺虫剤等の VOC 該当物質)	PRTR 届出外排出量推計であり、国内全て捕捉とみなす		
317	漁網防汚剤 飼育網等への漁網防汚剤の希釀溶剤の防汚処理による大気排出量	漁網防汚剤の使用に係る VOC 排出量推計値	1.00	—	・業種別排出量は、水産養殖業・物質別排出量はキシレンで PRTR 届出外排出量の物質別配分比に基づき配分率が決まる
		【出典】 PRTR 届出外排出量推計(漁網防汚剤中のキシレン溶剤)	PRTR 届出外排出量推計であり国内全て捕捉とみなす		

注1:基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ／捕捉率×排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ／捕捉率】

注2:計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

付表2(8/13)

発生源品目コード	発生源品目	VOC 排出量推計の計算式用データ 計算式【(基礎データ/捕捉率)×排出係数】 各発生源品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
322	ゴム溶剤 ゴム製品製造で使用されるゴム溶剤の大気排出量	日本ゴム工業会の VOC 自主行動計画の排出量	0.85	—	・業種別排出量はゴム製品製造業に配分 ・物質別排出量はゴム揮発油など「ゴム工業における有機溶剤の使用実態調査」日本ゴム工業会、昭和60年調査、及びゴム製品製造業のPRTR届出排出量(大気)に基づき配分
		【出典】 日本ゴム工業会の VOC 自主行動計画	【出典】同左	—	
323	コンバーティング溶剤 染色整理におけるコンバーティング施設等での使用溶剤の大気排出量	(一社)日本染色協会の VOC 自主行動計画の排出量	0.359(※R1)	—	・業種別排出量は繊維工業に配分 ・物質別排出量はトルエンなど13種(一社)日本染色協会の VOC 自主行動計画の物質別配分比に基づき配分率が決まる
		【出典】 (一社)日本染色協会の VOC 自主行動計画	【出典】同左	—	
324	コーティング溶剤 プラスチックフィルム上にコーティングする工程で使用される溶剤の大気排出量	①日本ポリエチレンラミネット製品工業会の VOC 自主行動計画の排出量(ラミネート用接着剤部分)	—	※物質別への配分に使用	・業種別排出量はプラスチック製品製造業に配分 ・物質別排出量はメチルエチルケトンなど日本ポリエチレンラミネット製品工業会の VOC 自主行動計画の物質別配分比に基づき配分率が決まる
		【出典】 ・日本ポリエチレンラミネット製品工業会の VOC 自主行動計画(会員企業へのアンケート調査結果)	—		
		②PRTRによるプラスチック製品製造業の大気中への排出量	—	VOC 排出量 $=0.0000036 \times A^2 + 0.2351 \times A$ A:PRTR 大気排出量 プラスチック製品製造業(kg/年)	
325	合成皮革溶剤 合成皮革の製造工程で使用される溶剤の大気排出量	PRTRによるプラスチック製品製造業のN,N-ジメチルホルムアミドの大気中への排出量	1.00	—	・業種別排出量は、プラスチック製品製造業に配分 ・物質別排出量は、N,N-ジメチルホルムアミドのみ
		【出典】 ・PRTR 届出データ	【出典】同左 PRTR 届出排出量を国内全て捕捉とみなす	—	

注1:基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率×排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率】

注2:計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

付表2(9/13)

発生源品目コード	発生源品目	VOC 排出量推計の計算式用データ 計算式【(基礎データ/捕捉率)×排出係数】 各発生源品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
326	アスファルト溶剤 道路舗装等における重油等の蒸発による排出	・アスファルト合材総生産量 ・常温合材生産量 ・アスファルト消費量	1.00	30 kg/t (カットバックアスファルト消費量)	・業種別排出量は舗装工事業に配分
		【出典】 ・「アスファルト合材統計年報」 (一社)日本アスファルト合材協会 ・「主要建設資材月別需要予測」国土交通省	国内全て捕捉とみなす	【出典】EMEP/CORINAIR Emission Inventory Guidebook (欧州環境庁(EEA))	
327	光沢加工剤 印刷物等を光沢加工する際の光沢加工剤からの排出	全国光沢加工紙協同組合連合会による光沢加工剤の VOC 排出量	1.00	—	・業種別排出量は印刷・同関連業に配分 ・物質別排出量は特定できない物質(定性的にはトルエン、酢酸エチルなどが含まれる)に配分
		【出典】 全国光沢加工紙協同組合連合会の自主調査 (ただし、調査は平成 18 年度で終了)	全国光沢加工紙協同組合連合会による調査が国内全量とみなす		
328	マーキング剤 鉄鋼に印字(マーキング)する際のマーキング剤からの大気排出量	(一社)日本鉄鋼連盟の VOC 自主行動計画のマーキング剤使用に係る排出量	1.00	—	・業種別排出量は鉄鋼業に配分 ・物質別排出量はジクロロメタン、トリクロロエチレンで(一社)日本鉄鋼連盟推計に基づき配分率が決まる
		【出典】 (一社)日本鉄鋼連盟の VOC 自主行動計画 (ジクロロメタン、トリクロロエチレン分の推計排出量)	日本鉄鋼連盟 88 社データを全量とみなす		

注 1: 基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率×排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率】

注 2: 計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

付表2(10/13)

発生品目コード	発生品目	VOC 排出量推計の計算式用データ 計算式 【(基礎データ／捕捉率)×排出係数】 各発生品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
331	工業用洗浄剤 工業用洗浄剤の使用段階での排出	①塩素系洗浄剤の使用量(t/年)	1.00	0.75	<p>・業種別排出量は塩素系洗浄剤ではPRTR届出排出量の業種別構成比で配分、塩素系洗浄剤以外排出の業種は「工業用洗浄剤の実態調査報告書」日本産業洗浄協議会、平成20年度に基づき配分率が決まる</p> <p>・物質別排出量はジクロロメタンなどクロロカーボン衛生協会、日本産業洗浄協議会の調査報告の配分比に基づき配分率が決まる</p>
		【出典】 ・「用途別需要量」クロロカーボン衛生協会(ジクロロメタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン) ・「工業用洗浄剤の実態調査報告書」日本産業洗浄協議会、平成20年度(その他の塩素系洗浄剤) ・日本溶剤リサイクル工業会(塩素系洗浄剤のリサイクル率)	クロロカーボン衛生協会による推定を全量とみなす	【出典】 A.「平成17年度揮発性有機化合物(VOC)排出抑制に係る自主的取組推進マニュアル原案作成(洗浄関係)委員会 報告」日本産業洗浄協議会	
		②準水系洗浄剤の使用量(t/年)	1.00	0.004	
		【出典】 「工業用洗浄剤の実態調査報告書」日本産業洗浄協議会、平成20年度(以降の調査無)、「産業用洗浄剤の市場規模と排出抑制対策の課題」(みずほ情報総研、潤滑経済、2012.10)に基づき、工業統計での原材料使用額等の該当年度間の増減から使用量を推計	日本産業洗浄協議会の調査を全数とみなす	【出典】 「平成22年度揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ作成等に関する調査業務」において実施したアンケート調査結果による	
		③炭化水素系洗浄剤の使用量(t/年)	1.00	0.313	
		【出典】同上	日本産業洗浄協議会の調査を全数とみなす	【出典】同上	
		④アルコール系洗浄剤の使用量(t/年)	1.00	0.45	
		【出典】同上	日本産業洗浄協議会の調査を全数とみなす	【出典】同上	
		⑤その他洗浄剤(フッ素系、その他)の使用量(t/年)	1.00	0.84 (フッ素系洗浄剤) 0.75 (その他洗浄剤)	
		【出典】同上	日本産業洗浄協議会の調査を全数とみなす	【出典】同上	

注1:基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ／捕捉率×排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ／捕捉率】

注2:計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

付表2(12/13)

発生源品目コード	発生源品目	VOC 排出量推計の計算式用データ 計算式【(基礎データ/捕捉率)×排出係数】 各発生源品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備 考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
335	表面処理剤(フラックス等)	表面処理剤(フラックス等)の使用量(t/年)	1.00	0.47	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別排出量は電気機械器具製造に配分 ・物質別排出量はメチルアルコールなど5種で、「有機溶剤の国内出荷量に係る調査」環境省、平成18年度分の集計結果に基づき配分率が決まる。
	表面処理剤(フラックス等)の使用段階での排出	【出典】 「有機溶剤の国内出荷量に係る調査」環境省、平成18年度分(これ以降の調査無)	【出典】同左	【出典】 東京都環境確保条例に基づく報告データ(平成14~17年度分)の集計結果	
341	試薬 試薬の使用による大気排出量	試薬用溶剤の使用量(t/年)	1.00	0.07(※R4)	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別排出量は「すそ切り以下排出量推計手法に関する調査(経産省)」の試薬分のジクロロメタン、トリクロロエチレンの業種別構成比に基づき、化学工業、学校教育、その他の事業サービス業、学術・開発研究機関等に配分 ・対象物質はアセトン、ヘキサンなど15種。入手可能なデータはジクロロメタンとトリクロロエチレンのみであるため、それ以外の物質はジクロロメタンの経年変化率と同じとする。
		【出典】 ・「用途別需要量」クロロカーボン衛生協会 (ジクロロメタン、トリクロロエチレンの試薬用途需要) ・東京都環境確保条例に基づく報告データ(平成14~17年度分)の集計結果 (トルエン、キシレン、ヘキサン、ベンゼン、メチルアルコール、IPA、フェノール、アセトン、MEK、酢酸エチル、エチレンオキシド、クロロホルム、ホルムアルデヒド)の年間取扱量の対ジクロロメタン比率を基に各試薬化学物質の全国推計使用量を算出)	クロロカーボン衛生協会による試薬用溶剤のジクロロメタン、トリクロロエチレンの捕捉率を1.00とみなす	【出典】 「化学物質安全対策(すそ切り以下事業者排出量推計手法、オゾン層破壊物質及び低含有率物質の排出量推計手法に関する調査)報告書」経産省	
411	原油(精製時の蒸発) 原油精製時の原油成分の漏えいによる大気排出量	〔原油精製時の日産漏洩量[石油精製施設の能力×稼働率×5.675(kg/日/10 ⁵ BPSD)(単位排出係数)]×365〕(t/年)	1.00		<ul style="list-style-type: none"> ・業種別排出量は石油製品・石炭製品製造業に配分 ・物質別排出量は特定できない物質(原油の揮発成分)に配分
		【出典】 1)「製油所装置能力」石油連盟(常圧蒸留装置能力;BPSD) 2)「原油バランス」石油連盟(原油処理の稼働率) 3)「大気汚染物質排出量グリッドデータ整備業務報告書」環境省、平成12年度(以降の調査無)	製油所はすべて石油連盟加盟事業所とみなす	—	

注1:基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率×排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率】

注2:計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

付表2(13/13)

発生品目コード	発生品目	VOC 排出量推計の計算式用データ 計算式【(基礎データ/捕捉率)×排出係数】 各発生品目の排出量は、基礎データから求めた排出量の合計値			備考
		基礎データ	捕捉率	排出係数	
421	プラスチック発泡剤	塩素系溶剤(ジクロロメタン)の用途別(発泡剤)需 要量(t/年)	1.00	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別排出量はプラスチック製品製造業に配分 ・物質別排出量はジクロロメタンに配分
	プラスチック発泡の製造における使用溶剤の大気排出量	【出典】 「塩素系溶剤の用途別需要」 クロロカーボン衛生協会(軟質発泡の発泡助剤)	クロロカーボン衛生協会(メーカー団体)によるプラスチック発泡剤のジクロロメタンの捕捉率を1.00とみなす		
422	滅菌・殺菌・消毒剤 医療用器具や製品等の滅菌・消毒での使用からの排出量	滅菌ガスとしてのエチレンオキシド出荷量(kg/年)	1.00	0.05~0.80 ※業種ごとに設定 【出典】 「令和2年度酸化エチレン排出抑制対策調査検討業務報告書」環境省	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別排出量は精密機械器具製造業、他の製造業、その他の事業サービス業(※医療業)に配分。 ・物質別排出量はエチレンオキシドに配分
		【出典】一般社団法人 日本産業・医療ガス協会調べ	日本産業・医療ガス協会によるエチレンオキシドガス出荷量の捕捉率を1.00とみなす		
423	くん蒸剤 農地や倉庫で使用されるくん蒸剤の使用後の大気排出量	くん蒸剤(臭化メチル)の使用量(t/年)	1.00	0.64 【出典】 「臭化メチルの使用実態調査」国立環境研究所、H10年度	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別排出量は倉庫業、他の事業サービス業、農業に配分 業種別排出量配分は「臭化メチルの用途別国内出荷量」メチルプロマイド工業会を参照 ・物質別排出量は臭化メチルに配分
		【出典】 メチルプロマイド工業会調査結果 (臭化メチルのその他用は半量をくん蒸剤での使用と仮定)	【出典】同左		
424	湿し水 オフセット印刷に使用される湿し水の使用時・使用後の大気排出量	湿し水の使用に係る排出量(t/年)	0.90	—	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別排出量は印刷・同関連業に配分 ・物質別排出量はイソプロピルアルコールに配分
		【出典】 日本印刷産業連合会調査結果	【出典】同左		

注1:基礎データが「排出量」で得られる場合、排出係数は不要であるため「-」表記とした。基礎データの種類ごとの計算式は以下のとおり。

- ・基礎データが「使用量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率×排出係数】
- ・基礎データが「排出量」である場合 → 【基礎データ/捕捉率】

注2:計算式で工業統計を利用した箇所は以下のとおり。

- ・印刷インキのインキ販売量で「化学工業統計年報」を利用
- ・工業用洗浄剤の使用業種による使用量の年次変化で各使用業種の「工業統計での原材料使用額等」を利用

